

JVC

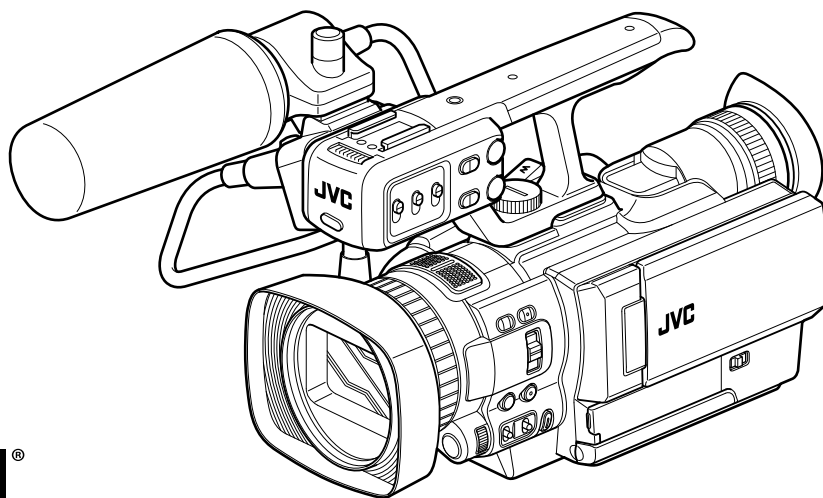
4K メモリーカードカメラレコーダー

型
名 **GY-HMQ10**

取扱説明書



Progressive



※イラストはGY-HMQ10に付属のオーディオユニットを取り付けた例です。
(マイクは別売り)

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

もくじ

はじめに

特長	3
安全上のご注意	4
正しくお使いいただくためのご注意	6
付属品について	8
各部の名称	9
液晶画面表示	14
タッチパネルの使いかた	17

準備

使用前の準備・調整	18
オーディオユニットを取り付ける	18
外部マイクを取り付ける	18
グリップベルトを調整する	19
リモコンを準備する	19
三脚に取り付ける	19
フードをはずす	19
レンズカバーを開ける	19
バッテリーを充電する	20
電源を入れる/切る	21
時計を合わせる	22
USER ボタンへ機能を割り付ける	23
タリーを設定する	23
タッチパネルのボタン位置を調整する	23
表示言語を変更する	24
SDHC/SDXC カードを入れる	25
SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチについて	25
SDHC/SDXC カードの記録可能時間のめやす	26
SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する	26
ビューファインダー/液晶モニターで見る	27

撮影

撮影モードを選択する	28
フルオート/マニュアル撮影モードを選択する	28
フォーカス調整モードを選択する	28
映像の記録方式および記録モードを選択する	29
映像の記録方式を選択する	29
記録モードを選択する(HD 撮影のみ)	29
撮影する	29
撮影前にモニターで映像を確認する	30
ズームする	31
手動でピントをあわせる	31
フォーカスアシスト機能を使う	32
拡大表示機能を使う	32
テレマクロ機能を使う	33
ゼブラパターンを表示する	33
明るさを手動補正する	34
マニュアルゲイン調整をする	34
シャッタースピードを調整する	35
絞りを調整する	36
ホワイトバランスを調整する	37
オートホワイトバランス調整をする	37
フルオートホワイト(FAW)機能を使う	38
カメラ画を調整する	38
手ぶれ補正機能を使用する	39

逆光補正を設定する	39
タッチ優先AE／AFを設定する	39
グリッドを設定する	39
微速度撮影を設定する(タイムラプス撮影)	40
残量時間を確認する	40
録音する	41
基準録音レベルを設定する	41
内蔵マイクを使用する	41
[INPUT1/INPUT2]端子の外部マイクを使用する	41
風きり音を減らす	42
ヘッドホンで音声をモニターする	42

再生

動画を再生する	43
画面を拡大して再生する	44
動画の音量を調節する	44
撮影日などの情報を見る	45
インデックス一覧の画面表示	45
動画再生中の画面表示	46
管理情報が壊れた動画を再生する	46
モニターで映像を見る	47
4K2K モードで撮影した映像を再生する	48
1920 モードで撮影した映像を再生する	49
不要な映像を削除する	50
映像を保護する	51

保存

コンピューターに保存する	53
ファイルとフォルダの一覧について	54

設定メニュー

メニュー操作のしかた	55
メインメニューの操作のしかた	55
共通メニューの操作のしかた	55
撮影メニュー	56
再生メニュー	59
共通メニュー	59

その他

エラー表示と対応	61
こんなときは	62
保証とアフターサービス	65
仕様	66

特長

本機は、4K2K/HD フォーマット映像を SDHC/SDXC カードに記録し、再生できるカメラレコーダーです。

4K2K モードによる撮影

フルハイビジョンの約 4 倍にあたる 4K2K(水平 3840×垂直 2160)の超高精細映像での撮影ができます。

HD モードによる撮影

AVCHD フォーマットによるフルハイビジョン(水平 1920×垂直 1080)の高精細映像での撮影もできます。

SDHC/SDXC カード(Class6/10)での記録

記録メディアに SDHC/SDXC カード(Class6/10)を採用し、メカレス化による動作信頼性を向上させました。

4K2K モード、HD モード共に 60Hz/50Hz 方式に対応

フォーカスアシスト機能

撮影時のピントあわせが簡単かつ正確に行えます。

豊富なユーザーボタンを装備

撮影条件にあわせてカメラ設定を瞬時に切り換えることができます。

ビューファインダーおよびカラー液晶モニター搭載

カメラ映像、再生画の他にステータス画面、メニュー設定画面やアラームを表示します。

音声の確認が容易なモニタースピーカー内蔵

ゼブラパターンによってビデオレベルを表示

フルオート撮影機能

屋内から野外へ、明るい場所から暗い場所へ、いろいろな撮影条件に対し、わずらわしいスイッチの操作なしで、自動的に対応する機能です。

手ぶれ補正機能

手ぶれによる映像のブレを低減します。

ホワイトバランス調整機能

自動および手動で調整できます。

スローシャッター

映像を蓄積することで、暗くて動きの少ない被写体の映像を明るく撮影できます。

音声入力用端子を 2 系統装備

内蔵マイクのほかに、マイクなどの音声入力端子として XLR 端子(2 系統)を備えています。

ワイヤードリモコン対応

USB 端子でパソコン接続可能

パソコンで SDHC/SDXC カードのファイルを読み出すことができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
 : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- AVCHD Progressive/AVCHD および AVCHD Progressive/AVCHD ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDMI®(High-Definition Multimedia Interface)と  は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™ マークと ® マークを明記していません。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
 VCCI-A

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと		禁止されていること				実行して欲しいこと
						
一般的注意	感電注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	水場での使用禁止	一般的指示

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ



**バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。お客様による点検、整備、修理は危険です。



危険

「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない



- プラス（+）とマイナス（-）のまちがい
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

- ・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
- ・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
- ・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
- ・ バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
- ・ 幼児の手の届くところには置かないでください。



変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する

- ・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
（バッテリーの処分方法については、「正しくお使いいただくためのご注意」の「バッテリーを処分するとき」（p.6）をご覧ください。）

- ・ ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。
- ・ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

● 長期間使わないときは…

- ① 30%程度充電された状態（）で保存してください。
- ② 半年に1度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態（）で保存してください。



警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



内部に物を入れない

- ・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。



レンズを直射日光などに向けない

- ・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。



乗り物を運転中に使用しない

- ・ 交通事故の原因になります。



雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない

水場での使用禁止

- ・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
- ・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。



分解・改造をしない

- ・ 火災や感電の原因になります。



付属のACアダプター以外は使用しない

- ・ 火災や感電、故障の原因になります。



付属のACアダプターを他の機器に使用しない

- ・ 火災や感電、故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

一般的注意

- ・ ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む

一般的注意

- ・ 本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



電源コードを傷つけない

- ・ 痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)に、ほこりや金属を付着させない

- ・ ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。



感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。



一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店に相談する

・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。



一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う

・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



一般的指示

グリップベルトをゆるんだまま使用しない

・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。

一般的指示

三脚を確実に取り付ける

・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください、しっかりと取り付けてください。



一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



一般的指示

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす

・電源が「切」でも機器に電気が流れています。
電源プラグやバッテリーをはずしてください。
感電の原因になります。

禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。



禁止

熱源の近くでは、使用しない

・火災や故障の原因になります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 周囲温度、湿度

許容周囲温度は 0℃～40℃、湿度 35 %RH～80 %RH の範囲を守ってご使用ください。許容周囲温度の範囲外でご使用されると、故障の原因となります。

■ 強い電波や磁気の影響

ラジオやテレビの送信アンテナに近いところ、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは、画像や音声にノイズが入ったり色彩に変化を生じたりすることがあります。

■ ワイヤレスマイクをカメラの近くで使用するとき

本機で撮影中、ワイヤレスマイクおよび受信機を使用すると、ノイズがワイヤレス受信機に飛び込むことがありますので、ご注意ください。

■ 次の場所での使用や保管は避けてください。

- 極端に暑いところや寒いところ
- ゴミやほこりの多いところ
- 湿気の多いところ
- 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる場所
- 振動の激しいところや不安定なところ
- 直射日光のあたる車の中や暖房機の近くに長時間放置しないでください

■ 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。

■ 本機を水でぬらさないでください。 (雨の日の撮影では、特にご注意ください)

■ 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。また、塩分、砂などがボディに付着していることがあります。撮影後のお手入れをお忘れなく。

■ 砂浜など、砂ぼこりが多い場所でご使用になるときは、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。

■ 本機やリモコンを直射日光や火などの過度の熱にさらさないでください。高温になると、内部の電池が破裂することがあります。

■ カードスロットのカバーをあけた状態で長時間放置しないでください。内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。

移動について

- 持ち運ぶ場合、本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにご注意ください。

省エネについて

- ご使用にならないときは、節電のため、電源を切ってください。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機清掃時は外装キャビネット部はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきをしてください。

バッテリー(充電式電池)について

- 必ず当社指定のバッテリーをお使いください。当社指定以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

■ ご購入時は充電されていません。

- 低温(10℃以下)で使用する場合、使用できる時間が短くなったり、動作しなくなったりすることがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。

■ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

■ 長時間使わないときは…

- ① 劣化を防ぐため、30%程度充電された状態で保存してください。
- ② 半年に1回程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態で保存してください。

■ 取りはずしたバッテリーは、約 15℃～25℃の乾燥したところで保管してください。

■ バッテリーを処分するとき



不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

SDHC/SDXC カードについて

- 本機では、撮影した映像・音声をカードスロット内の SDHC/SDXC カード(別売)に記録します。
- 本機でフォーマットした Class 6 以上対応の SDHC/SDXC カード(4 GB ~ 64 GB)を使用してください。
 - Panasonic、TOSHIBA、SanDisk 以外のカードでは正しく記録できなったり、データが消えたりすることがあります。
 - 4K2K モードで使用するときは、4 枚とも同じ SD カードでの記録を推奨します。
- SDHC/SDXC カード内に本機以外で記録したファイルやパソコンなどで書き込んだファイルが存在する場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。また、パソコンなどでファイルを削除しても残量が増えない場合があります。

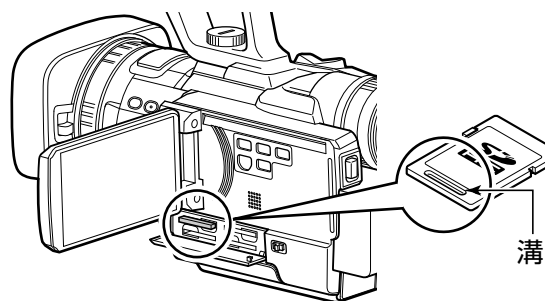
SDHC/SDXC UHS-I カードについて

- UHS スピードクラスには対応していませんが、通常の SDHC、SDXC カードとしてご使用になれます。

SDHC/SDXC カードの取り扱いについて

- アクセス中、アクセスランプおよび状態表示ランプが緑に点滅します。アクセス中(記録、再生、フォーマットなど)に SDHC/SDXC カードを抜かないでください。また、アクセス中、電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターをはずさないでください。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管しないでください。
- 強い磁気や電波の発生する機器の近くには置かないでください。
- 挿入方法を間違えると、本機や SDHC/SDXC カードの故障の原因となります。
- 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。データのバックアップをおねがいいたします。
- 使用条件の範囲でご使用ください。
次の場所では使用しないでください。
直射日光の当たる場所、熱機器の近く、炎天下の窓を閉め切った車の中、高温多湿の場所や腐食性のある場所、ほこりや砂ぼこりの立つところ。
- 曲げたり、落としたり、また、強い力や衝撃、振動を与えないでください。
- 水でぬらさないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- 端子部にほこりやゴミ、水分や異物を付着させないでください。
- 貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールをはったりしないでください。

- SDHC/SDXC カードに文字を書く場合は鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。
- フォーマット(初期化)を実行すると、SDHC/SDXC カード内の記録された映像データ、セットアップファイルなどを含むすべてのデータが消去されます。
- 破棄するためにすべてのデータを完全に消去したい場合は、市販のデータ消去ソフトを使用するか、または SDHC/SDXC カードを金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。カメラによるフォーマットや削除ではファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。
- 市販の SDHC/SDXC カードによっては、本体から取り出しにくいものがあります。カードの溝に引っ掛けて、取り出してください。
 - 何度か出し入れすると取り出しやすくなります。
 - シールなどをはらないようにしてください。



- SDHC/SDXC カードを取り出す場合、勢いよく飛び出ることがあります。失くさないよう十分に注意してください。

その他

- カードスロットに異物などを入れないでください。
- 記録や再生中に、電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターをはずさないでください。
- 電源投入直後は数秒間、安定した映像が見られませんが故障ではありません。
- 精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
- レンズ光学性能について
レンズの光学性能上、画面周辺において色ズレ現象(倍率色収差)を起こす場合があります。カメラの故障ではありません。
- モード切り換え時、画面にノイズがでることがあります。
- 横にして使用すると放熱効果が悪くなります。
- 電源は付属の AC アダプターをご使用ください。また付属の AC アダプターは、他で使用しないでください。
- 端子カバーがある端子を使用しない場合は、端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けてください。

液晶モニターおよびビューファインダーについて

- 液晶モニターやビューファインダー画面は精度の高い技術で作られています。液晶モニターやビューファインダー画面に黒い点が現れたり、赤、青、白の点が消えないことがあります。故障ではありません。これらの点は、記録されません。
- 長時間連続して使用した場合、ビューファインダー画面に表示した文字などが、一定時間残ることがあります。これは、SDHC/SDXC カードには記録されません。また、一度電源を入れ直すと、消えます。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。この残像は記録されません。
- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。
- ビューファインダー表示のデバイスの特性上、まばたきをした瞬間など、映像に色がのって見えるときがありますが、故障ではありません。また、記録される映像、HDMI 出力などには影響ありません。

レンズ固有の現象について

- 高輝度の光源を撮影すると、ゴースト現象が起きることがあります。これはレンズの特性で故障ではありません。

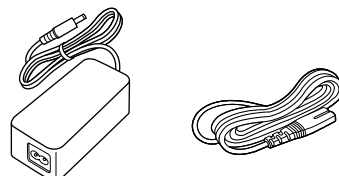
著作権について

- 本機で記録・録音したものを営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 記録(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

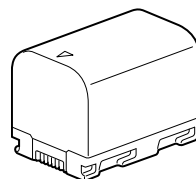
付属品について

本機には、下記の付属品が添付されています。

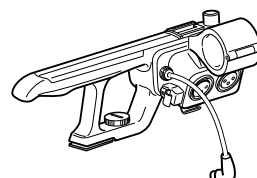
- AC アダプター
UIA336-1230



- バッテリー
SSL-JVC50



- オーディオユニット

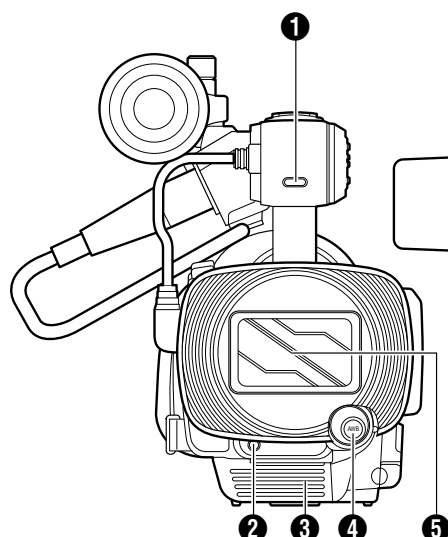


メモ：

- 予備のバッテリー、バッテリーチャージャーの購入については、お近くのディーラーにお問い合わせください。

各部の名称

■ 前面



※マイクは、別売です。

① タリーランプ

"タリーを設定する" (☞ p. 23)

② タリーランプ

"タリーを設定する" (☞ p. 23)

③ 通風孔

通風孔は、塞がないようにしてください。

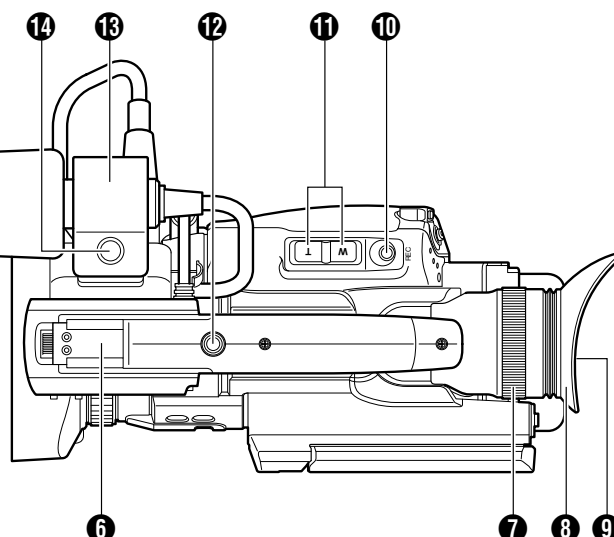
④ [AWB]オートホワイトバランスボタン

"オートホワイトバランス調整をする" (☞ p. 37)

⑤ レンズ・レンズカバー

"レンズカバーを開ける" (☞ p. 19)

■ 上面



⑥ シュー

別売のライトやアクセサリを取り付けることができます。

⑦ 接眼部(アイピース)フォーカスレバー

視度調整するためのレバーです。レバーは下側にあります。

⑧ 接眼部(アイピース)

⑨ ビューファインダー

"ビューファインダー/液晶モニターで見る" (☞ p. 27)

⑩ REC(撮影)ボタン

撮影を開始または停止します。

"撮影する" (☞ p. 29)

⑪ ズームレバー

望遠(T)または広角(W)側にズームします。

"ズームする" (☞ p. 31)

⑫ アクセサリー取り付け用ネジ穴

⑬ マイクホルダー

外部マイクを取り付けます。

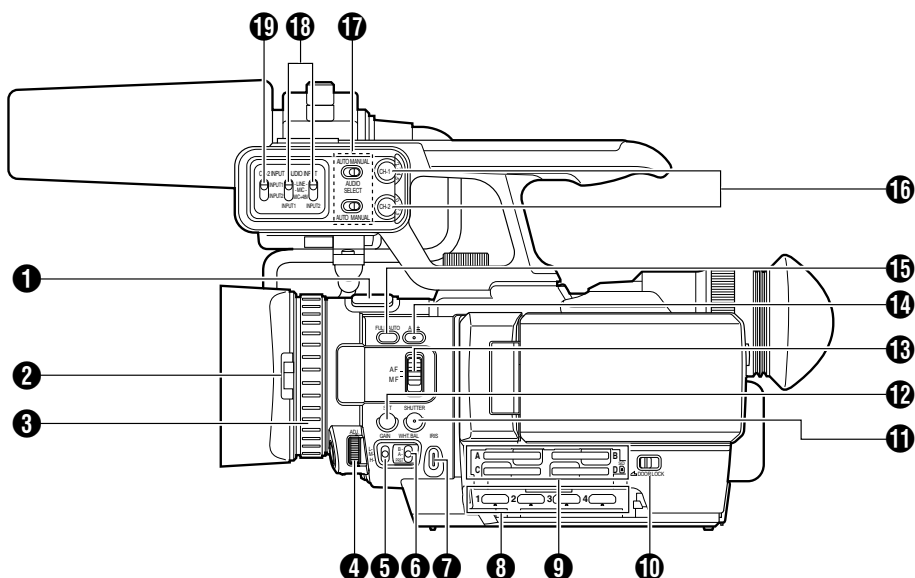
"外部マイクを取り付ける" (☞ p. 18)

⑭ ノブ

マイクの固定ノブです。

各部の名称 (つづき)

■ 側面(液晶モニター側)



※マイクは、別売です。

① 内蔵マイク

"内蔵マイクを使用する" (☞ p. 41)

② レンズカバースイッチ

③ マニュアルリング

"手でピントをあわせる" (☞ p. 31)

④ [ADJ.]ダイヤル

シャッタースピード (☞ p. 35)、絞り (☞ p. 36)、明るさ補正 (☞ p. 34)およびヘッドホンや内蔵スピーカの音量を調整 (☞ p. 42)します。

⑤ [GAIN]ゲインスイッチ

3段階の感度から選択します。

"マニュアルゲイン調整をする" (☞ p. 34)

⑥ [WHT.BAL]ホワイトバランス選択スイッチ

3種類のホワイトバランスから選択します。

"ホワイトバランスを調整する" (☞ p. 37)

⑦ [IRIS]アイリスボタン

手で絞りを調整する場合、このボタンを押します。

"絞りを調整する" (☞ p. 36)

⑧ [HDMI]1~4 端子

本機の映像を HDMI 端子付きモニターとつないで見るができます。

"モニターで映像を見る" (☞ p. 47)

⑨ カードスロット A~D

SDHC/SDXC カードの挿入口です。ドアをあけて SDHC/SDXC カードを挿入します。

"SDHC/SDXC カードを入れる" (☞ p. 25)

⑩ [DOOR LOCK]レバー

ドアカバーのロック/解除を行います。

⑪ [SHUTTER]シャッタースピードボタン

手でシャッタースピードを調整する場合、このボタンを押します。

"シャッタースピードを調整する" (☞ p. 35)

⑫ [SET]ボタン

明るさ補正や、シャッタースピードなどの調整を決定します。

⑬ [AF/MF]フォーカススイッチ

フォーカス調整モードをオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。

"フォーカス調整モードを選択する" (☞ p. 28)

⑭ [AE±]明るさ補正ボタン

手で明るさ補正を調整する場合、このボタンを押します。

"明るさを手動補正する" (☞ p. 34)

⑮ [FULL AUTO]フルオートモード選択ボタン

撮影調整モードをフルオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。

"フルオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 28)

⑩ [CH-1/CH-2]CH-1/CH-2 録音レベル調整ボリューム

CH-1 または CH-2 の入力音声レベルを調整します。

"録音レベルを調整する" (🔍 p. 42)

⑪ [CH1/CH2 AUDIO SELECT]**CH-1/CH-2 オーディオ選択スイッチ**

CH-1 または CH-2 の録音レベルの調整方法をオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。

"録音レベルを調整する" (🔍 p. 42)

⑫ [AUDIO INPUT 1/2]**INPUT1/INPUT2 オーディオ入力信号選択スイッチ**

[INPUT1]端子または[INPUT2]端子の入力信号を選択します。

"[INPUT1/INPUT2]端子の外部マイクを使用する" (🔍 p. 41)

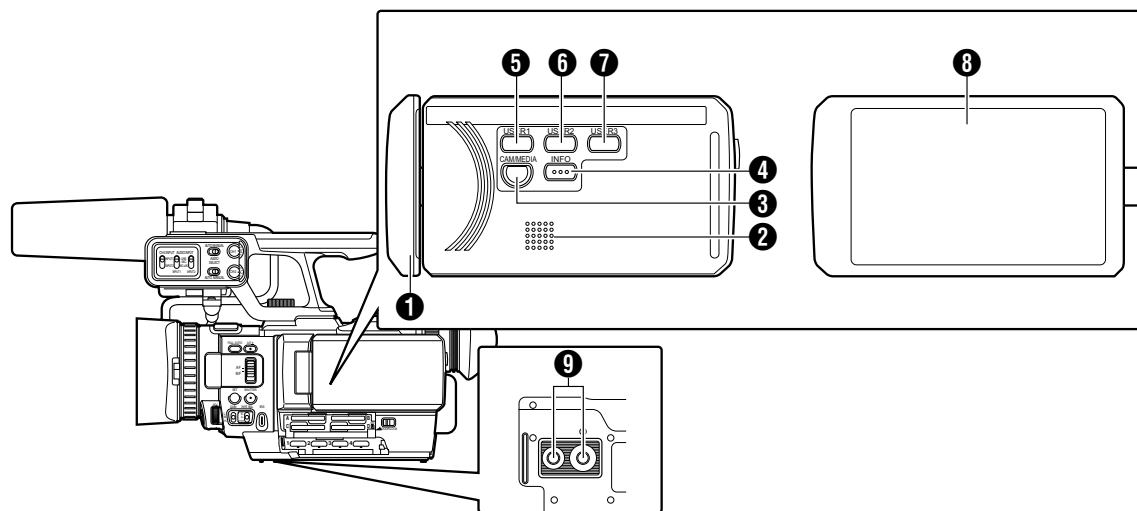
⑬ [CH-2 INPUT]CH-2 オーディオ入力端子選択スイッチ

CH-2 オーディオに入力する信号を[INPUT1]端子か[INPUT2]端子かを選択します。

"[CH-2]音声を選択する" (🔍 p. 41)

各部の名称 (つづき)

■ 液晶モニター部



※マイクは、別売です。

① モニターカバー

② 内蔵スピーカー

音量は、側面(液晶モニター側)の[ADJ.]ダイヤルで調整します。
内蔵スピーカーの音声をヘッドホンでモニターできます。

"ヘッドホンで音声をモニターする" (☞ p. 42)

メモ：――

- 内蔵スピーカーはメディアモード時のみ使用できます。カメラモード時、内蔵スピーカーから音声はでません。
- カメラモード時とメディアモード時の音声レベルはそれぞれ独立して調整されます。
- メディアモード時、ヘッドホン音量とスピーカー音量は同時に調整されます。
- ヘッドホン端子が接続されていない場合は、常に内蔵スピーカーから音声がでます。

③ [CAM]/[MEDIA]ボタン

押すたびに、カメラモードとメディアモードを切り換えます。

④ [INFO]ボタン

SDHC/SDXC カードに記録できる残量時間やバッテリー残量を確認できます。

"残量時間を確認する" (☞ p. 40)

⑤ [USER1]ボタン

メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。

"USER ボタンへ機能を割り付ける" (☞ p. 23)

⑥ [USER2]ボタン

メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。

"USER ボタンへ機能を割り付ける" (☞ p. 23)

⑦ [USER3]ボタン

メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。

"USER ボタンへ機能を割り付ける" (☞ p. 23)

⑧ 液晶モニター

"ビューファインダー/液晶モニターで見る" (☞ p. 27)

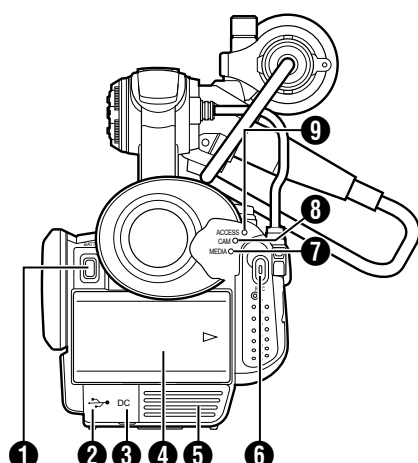
⑨ 三脚取り付け用穴(底面)

"三脚に取り付ける" (☞ p. 19)

メモ：――

- 落下防止のため、回転防止穴を利用して確実に取り付けてください。
- ねじ長さは 5 mm 以下のものを使用してください。

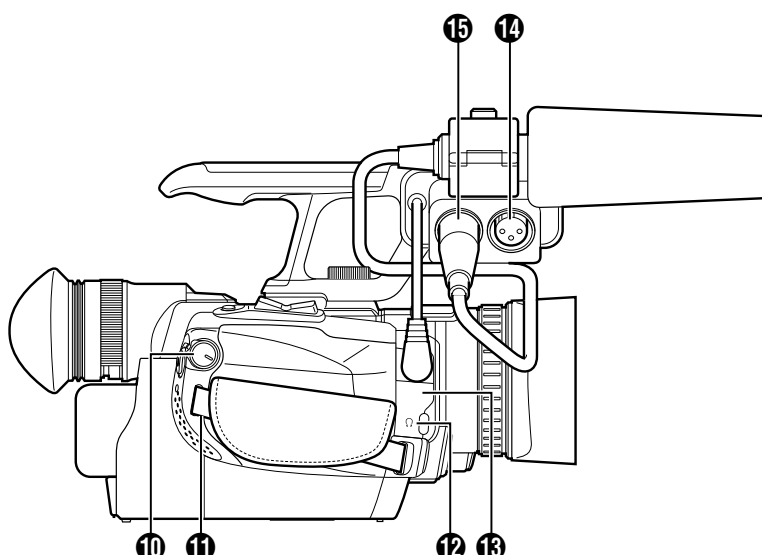
■ 背面



※マイクは、別売です。

- ❶ **バッテリーロック解除ボタン**
"バッテリーをはずすには" (☞ p. 20)
- ❷ **USB 端子**
"コンピューターに保存する" (☞ p. 53)
- ❸ **[DC]入力端子**
"バッテリーを充電する" (☞ p. 20)
- ❹ **バッテリー取り付け部**
"付属のバッテリーを取り付ける" (☞ p. 20)
- ❺ **通風孔**
通風孔は、塞がないようにしてください。
- ❻ **[REC]撮影ボタン**
"撮影する" (☞ p. 29)
撮影を開始または停止します。
- ❼ **[MEDIA]メディアモード表示灯**
メディアモード時、赤く点灯します。
- ❽ **[CAM]カメラモード表示灯**
カメラモード時、赤く点灯します。
- ❾ **[ACCESS]アクセス表示灯**
記録中または再生中は、点灯または点滅します。
充電中も点滅します。

■ 側面(グリップベルト側)

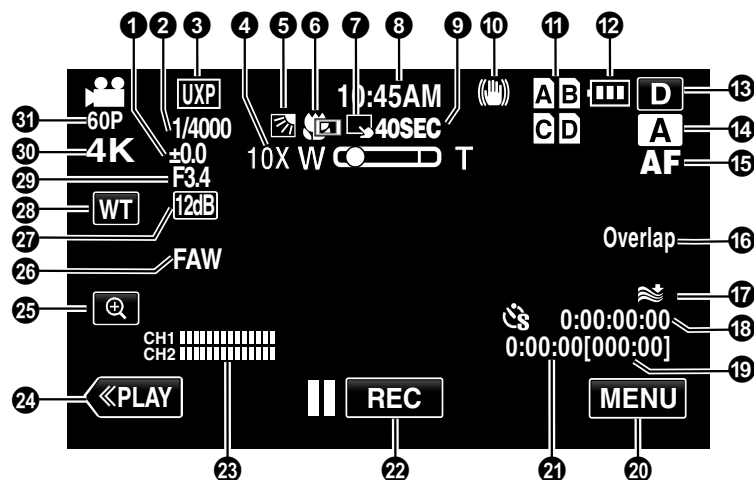


- ❿ **[STANDBY/ON OFF]/[CAM/MEDIA]**
電源/動作モード選択スイッチ
STANDBY/: 電源を入/切します。
ON OFF
CAM/ : 本機をカメラモードにするかメディアモードにするかを選択します。
MEDIA
- ⓫ **グリップベルト**
- ⓬ **ヘッドホン端子**
"ヘッドホンで音声をモニターする" (☞ p. 42)
- ⓭ **[REMOTE]リモート端子**
別売のワイヤードリモコンを接続します。
"リモコンを準備する" (☞ p. 19)
- ⓮ **[INPUT1]オーディオ入力1 端子**
XLR 端子のマイクを接続します。
"外部マイクを取り付ける" (☞ p. 18)
- ⓯ **[INPUT2]オーディオ入力2 端子**
XLR 端子のマイクを接続します。
"外部マイクを取り付ける" (☞ p. 18)

液晶画面表示

■ 液晶画面表示内容(撮影時)

説明のため、すべての項目を表示しています。



① 明るさ補正

"明るさを手動補正する" (☞ p. 34)

② シャッタースピード

"シャッタースピードを調整する" (☞ p. 35)

③ 記録モード

"記録モードを選択する(HD 撮影のみ)" (☞ p. 29)

④ ズーム倍率

"ズームする" (☞ p. 31)

⑤ 逆光補正

"逆光補正を設定する" (☞ p. 39)

⑥ テレマクロ

"テレマクロ機能を使う" (☞ p. 33)

⑦ タッチ優先AE/A F

"タッチ優先AE/A Fを設定する" (☞ p. 39)

⑧ 時刻

"時計を合わせる" (☞ p. 22)

⑨ タイムラプス撮影

"微速度撮影を設定する(タイムラプス撮影)" (☞ p. 40)

⑩ 手ぶれ補正

"手ぶれ補正機能を使用する" (☞ p. 39)

⑪ スロット表示

4K2K モード: すべてのスロットに SDHC/SDXC カードが入っているときに点灯します。

1920 モード: スロット A に SDHC/SDXC カードが入っているときに A が点灯します。

⑫ バッテリー残量

"残量時間を確認する" (☞ p. 40)

⑬ 画面表示切換ボタン

一部の表示は約 3 秒間で消えます。もう一度表示するときに押します。

ボタンを押すたびに約 3 秒間表示されます。また、ボタンを押し続けると表示を消さないように設定できます。再度、ボタンを押すと設定が解除されます。

⑭ 撮影モード切換ボタン

"フルオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 28)

⑮ フォーカスモード

"フォーカス調整モードを選択する" (☞ p. 28)

⑯ オーバーラップ

撮影メニューの"エッジブレンド"を"16ピクセル"に設定したときに表示されます。

"エッジブレンド" (☞ p. 58)

⑰ ウィンドカット

"風きり音を減らす" (☞ p. 42)

⑱ タイムラプス撮影カウンタ

"微速度撮影を設定する(タイムラプス撮影)" (☞ p. 40)

⑲ 撮影可能時間

"残量時間を確認する" (☞ p. 40)

⑳ メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 55)

㉑ シーンカウンタ

㉒ 録画開始/停止ボタン

"撮影する" (☞ p. 29)

㉓ 音量レベル

㉔ モード切換ボタン

撮影/再生を切り換えます。

25 拡大ボタン

"拡大表示機能を使う" (🔍 p. 32)

26 FAW

"フルオートホワイト(FAW)機能を使う" (🔍 p. 38)

27 ゲインレベル

"マニュアルゲイン調整をする" (🔍 p. 34)

28 ズームボタン

"ズームする" (🔍 p. 31)

29 絞り値

"絞りを調整する" (🔍 p. 36)

30 4K2K モード

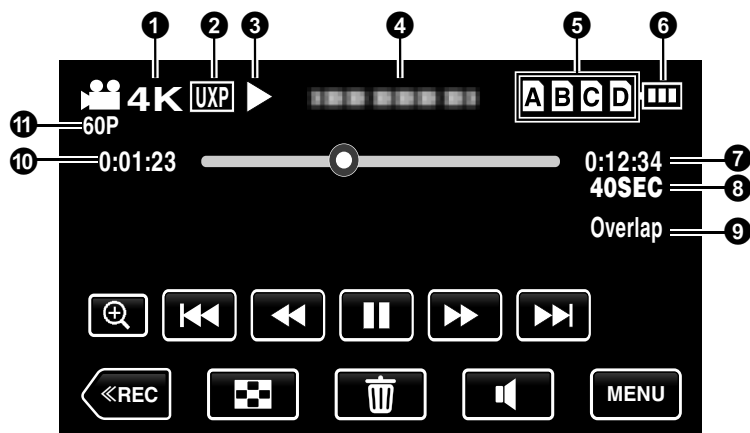
"映像の記録方式および記録モードを選択する" (🔍 p. 29)

31 フレームレート

"システムセレクト" (🔍 p. 57)

液晶画面表示 (つづき)

■ 液晶画面表示内容(再生時)



① 4K2K モード

"映像の記録方式および記録モードを選択する" (☞ p. 29)

② 記録モード

"記録モードを選択する (HD 撮影のみ)" (☞ p. 29)

③ 操作表示

"動画再生中の画面表示" (☞ p. 46)

④ 日付と時刻

"時計を合わせる" (☞ p. 22)

⑤ スロット表示

4K2K モード: すべてのスロットに SDHC/SDXC カードが入っているときに点灯します。

1920 モード: スロット A に SDHC/SDXC カードが入っているときに **A** が点灯します。

⑥ バッテリー残量

"残量時間を確認する" (☞ p. 40)

⑦ 再生時間

"動画を再生する" (☞ p. 43)

⑧ タイムラプス再生

"タイムラプス撮影" (☞ p. 58)

⑨ オーバーラップ再生

"エッジブレンド" (☞ p. 58)

⑩ シーンカウンタ

⑪ フレームレート

"システムセレクト" (☞ p. 57)

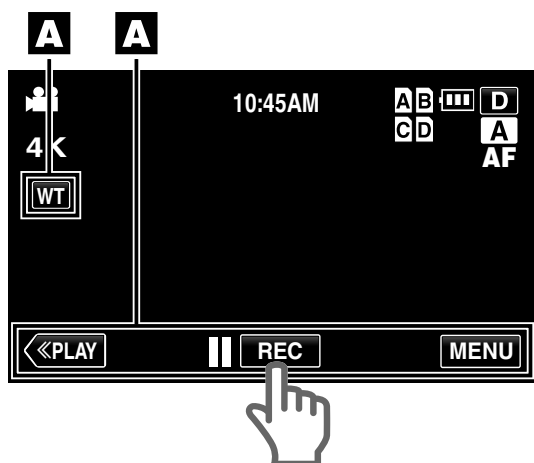
タッチパネルの使いかた

タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の2つの操作があります。以下は操作例です。

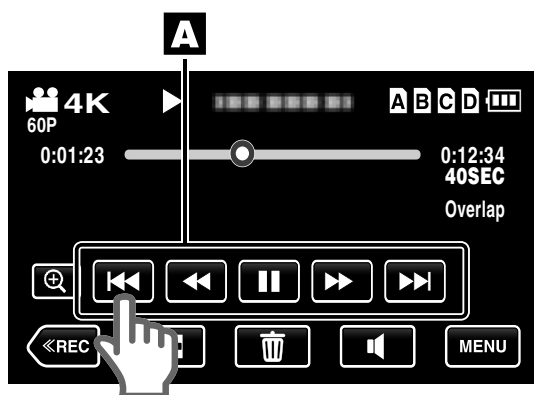
A タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。

B タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。

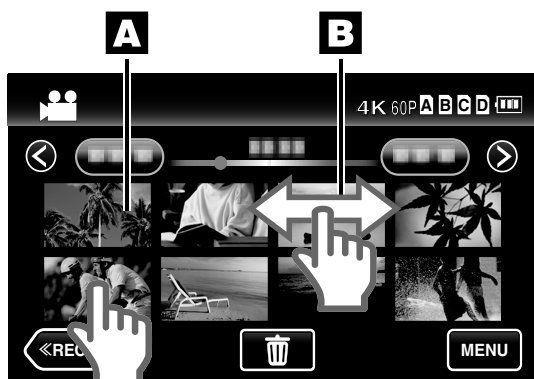
■ 撮影画面



■ 再生画面



■ インデックス画面



メモ:

- 本機のタッチパネルは圧力を検出するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 先の鋭い物で操作しないでください。
- 2箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、「タッチパネル調整」(p. 23)を行ってください。(SDカードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしないでください。)

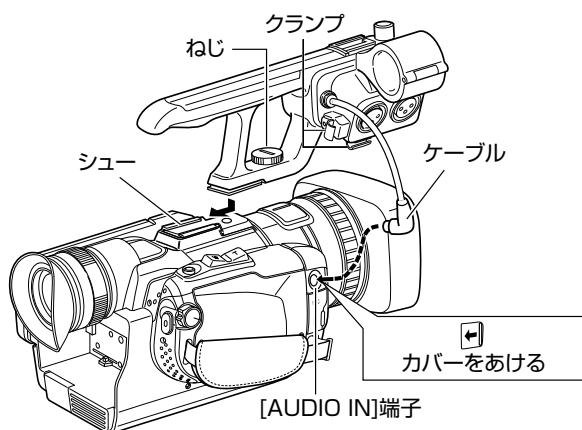
使用前の準備・調整

オーディオユニットを取り付ける

工場出荷時、オーディオユニット(ハンドル付き)は、本体から分離されています。

オーディオユニットを下記の手順で本体に取り付けてください。

- 1 本体上部のシューにオーディオユニットを突き当たるまでスライドして取り付ける
- 2 オーディオユニットに付いているねじを時計方向にまわして最後まで確実に締め込んで本体に固定する
 - 締め付けがゆるいと、オーディオユニットがグラツいたり、使用中に本体からはずれる恐れがあります。
- 3 オーディオユニットのケーブルを本体の[AUDIO IN]端子に接続する



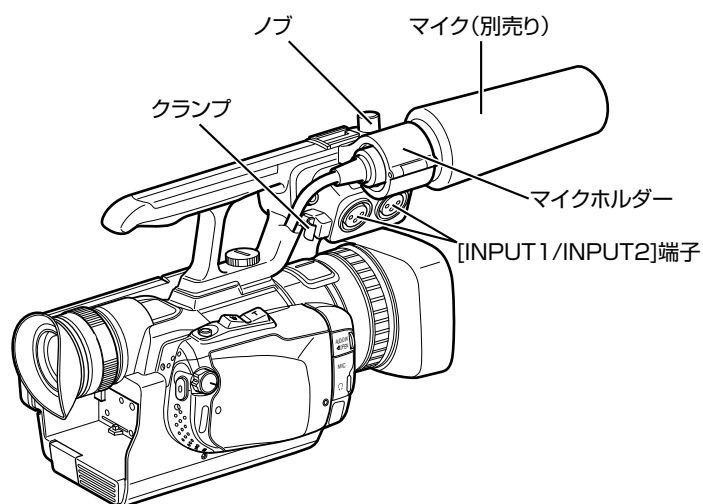
メモ: _____

- オーディオユニットのケーブルはクランプでの固定はできません。クランプはマイクのケーブルを固定するためのものです。
- 外部マイクの取り付け、設定については、「外部マイクを取り付ける」をご覧ください。

外部マイクを取り付ける

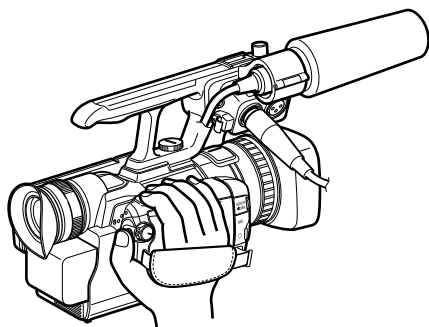
マイクホルダーに別売りのマイクを取り付けます。

- 1 マイクホルダーのノブを反時計方向にまわしてゆるめ、マイクホルダーをひらく
- 2 マイクをマイクホルダーにセットする
- 3 マイクホルダーのノブを時計方向にまわしてマイクを固定する
- 4 マイクケーブル端子の形式に応じて、マイクを[INPUT1]端子または[INPUT2]端子(XLR端子)に接続する
- 5 マイクケーブルをクランプに取り付ける
- 6 音声入力用の設定を正しく行う
 - 音声入力方法については、「録音する」(p. 41)をご覧ください。



グリップベルトを調整する

パッドをひらいてグリップベルトの位置を調整してください。



ご注意：

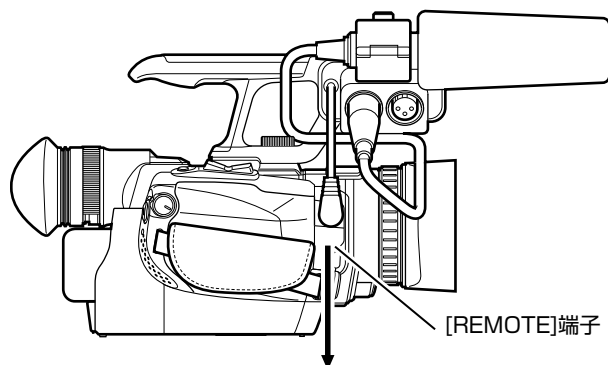
- ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- お子様がご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

リモコンを準備する

本機の機能をワイヤードリモコンを使用して操作します。

1 本機にワイヤードリモコンを接続する

本機[REMOTE]端子にワイヤードリモコン(別売)を接続します。



ワイヤードリモコンを接続

2 本機の電源を ON にする

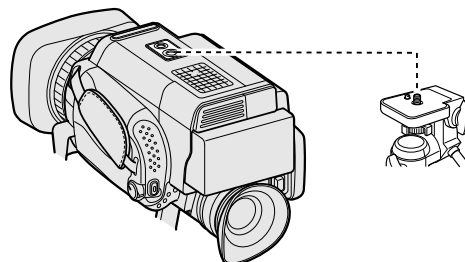
ご注意：

- ワイヤードリモコンを接続するときは、本機の電源を切ってください。

三脚に取り付ける

落下などによるけがや故障をふせぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください。

本機への取り付け位置は「三脚取り付け用穴(底面)」になります。
"三脚取り付け用穴(底面)" (p. 12)



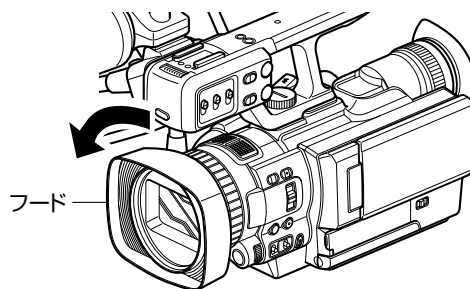
ご注意：

- 三脚は、安定した場所でお使いください。

フードをはずす

レンズ前面にテレコンバータ、ワイドコンバータまたはフィルター(外径 50 mm 以下)を取り付ける場合は、フードをはずしてください。

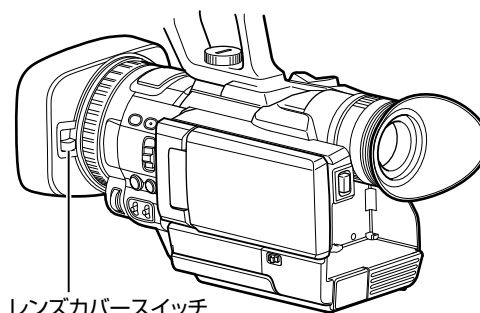
- フードを反時計方向にまわすと、フードがはずれます。



- フードを取り付けるときはフードをレンズ側に押しつけながら時計方向に回してください。

レンズカバーを開ける

レンズカバーの開閉は、レンズカバースイッチで行います。撮影する場合、レンズカバーを開けてください。



メモ：

- 本機を使用しないときは、レンズを保護するため、レンズカバーを閉じてください。
- レンズカバーを強く押さないでください。レンズやカバーが破損するおそれがあります。

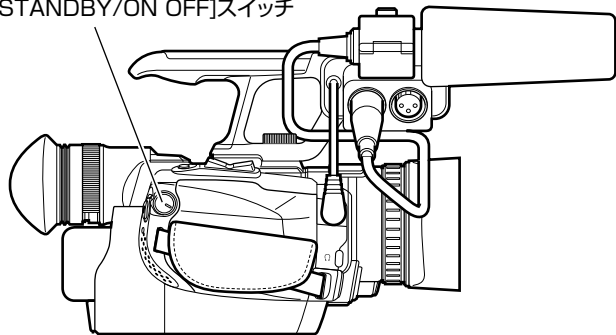
バッテリーを充電する

お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなってきたら、バッテリーを充電してください。

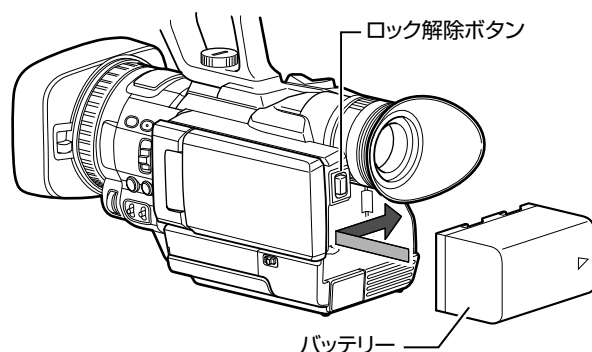
- ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

1 [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にする

[STANDBY/ON OFF]スイッチ

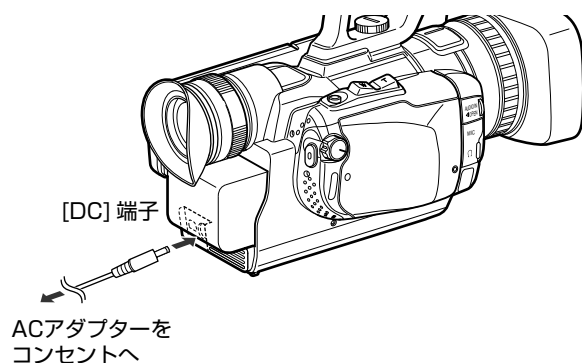


2 付属のバッテリーを取り付ける



- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

3 [DC]端子に AC アダプターをつなぐ



4 コンセントにつなぐ

- 充電中は[ACCESS]アクセス表示灯が点滅します。充電が終わると消灯します。
- 充電が終わったら、AC アダプターを取り外してください。

バッテリーをはずすには

- [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にする
- バッテリーロック解除ボタンを押して、バッテリーを左方向にずらす

充電時間・連続撮影時間のめやす

バッテリー	充電時間
SSL-JVC50(付属品)	約 4 時間

バッテリー	連続撮影時間	
	4K2K モード	1920 モード
SSL-JVC50(付属品)	約 1 時間 45 分	約 2 時間 45 分

ご注意：

- 撮影時間は、LCD モニター使用時、「モニター明るさ」が「3」のときの値です。
- 撮影時間は、バッテリーの古さ、充電状況、動作環境などによって異なります。
- 高温の環境下では、バッテリー保護のため電源を切ることがあります。このような場所でご使用するときは、AC アダプターをおすすめします。
- 撮影時間は寒冷地で短くなります。
- 撮影時間は、ズームや液晶モニターを多用すると短くなります。
- 撮影時間は、HDMI ケーブルを接続すると短くなります。

メモ：

- 予備のバッテリー、バッテリーチャージャーの購入については、お近くのディーラーにお問い合わせください。

電源を入れる/切る

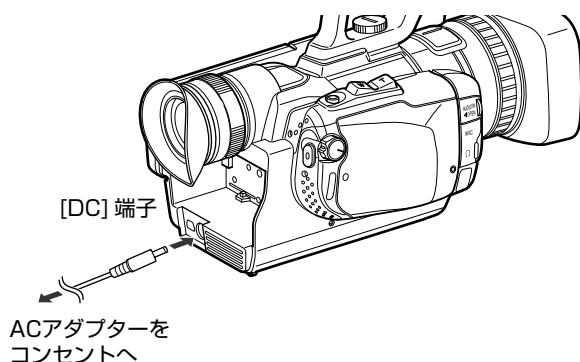
電源を入れる

準備: 充電したバッテリーまたは AC アダプターを接続してください。

- バッテリーを使用する場合は、"バッテリーを充電する" (p. 20) をご覧ください。

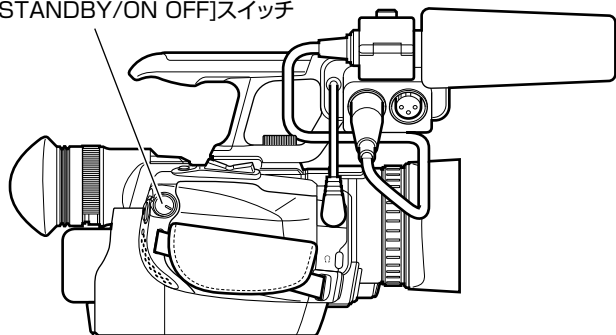
■ AC アダプターを接続する場合

1 [DC]端子に AC アダプターをつなぐ



2 [STANDBY/ON OFF]スイッチを[ON]にする

[STANDBY/ON OFF]スイッチ



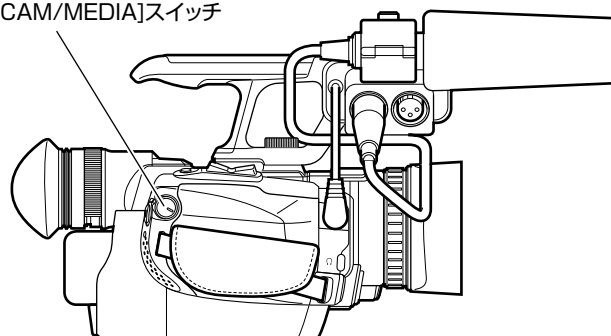
- 本機に電源が供給されカメラモードになります。
- 電源を入れると、必ずカメラモードになります。

■ [CAM/MEDIA]動作モードと表示灯の状態について

[CAM/MEDIA]動作モード選択スイッチで、モードが切り換わります。このとき、[CAM]表示灯と[MEDIA]表示灯が下記の状態になります。

モード	[CAM]表示灯	[MEDIA]表示灯
カメラモード時	赤く点灯	消灯
メディアモード時	消灯	赤く点灯

[CAM/MEDIA]スイッチ

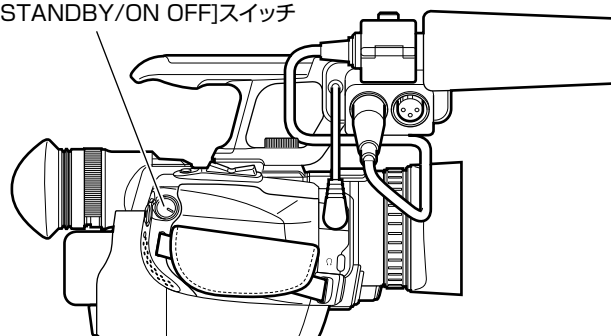


- メディアモードへ切り換える場合、[CAM/MEDIA]選択スイッチを回すか、または[CAM/MEDIA]ボタンを押します。[CAM]/[MEDIA]の選択操作は2箇所できます。

電源を切るには

1 [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にする

[STANDBY/ON OFF]スイッチ



■ オートパワーオフ機能

バッテリーだけで動作している場合、共通メニューの "オートパワーオフ" を "入" に設定すると、5 分以上操作および動作しないと、自動的に電源を切ります。

"オートパワーオフ" (p. 60)

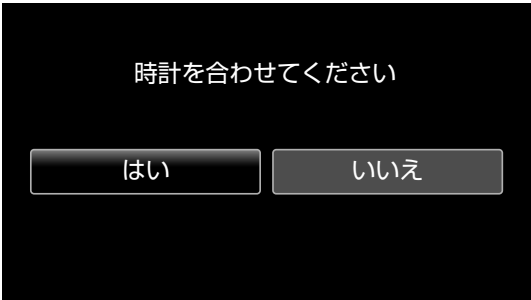
メモ:

- バッテリーと AC アダプター両方が接続されている場合は、AC アダプター接続が優先されます。そのため、"オートパワーオフ" 機能は有効になりません。

時計を合わせる

ご購入後初めて電源を入れた時や、長期間使用しなかった時、または時計を合わせていないときに電源を入れると "時計を合わせてください"と表示されます。
撮影前に時計を合わせてください。

- 1 [STANDBY/ON OFF]スイッチを[ON]にする
- 2 液晶モニターを開く
- 3 "時計を合わせてください"が表示されたら、
"はい"をタッチする



4 日時を設定する



- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、^ または v が表示されます。
- ^ または v をタッチして、年、月、日、時、分を合わせます。

5 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする

6 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と時差が表示されます
- < または > をタッチして、都市名を選んでください。
例) 日本の場合、都市名は「東京」

メモ :
• 設定した日付・時刻データは液晶モニター画面やビューファインダー画面に表示したり、SDHC/SDXC カードに記録することができます。
• 設定できる年は、"2001"から "2099"です。
• 一度設定したあとに、時計を合わせ直すこともできます。
"時計合わせ" (p. 59)
• 長期間使用しないと "時計を合わせてください"が表示されます。
本機内蔵の時計用電池を充電するために、AC アダプターなどの電源を 24 時間以上接続してから、時計を設定してください。
"バッテリーを充電する" (p. 20)

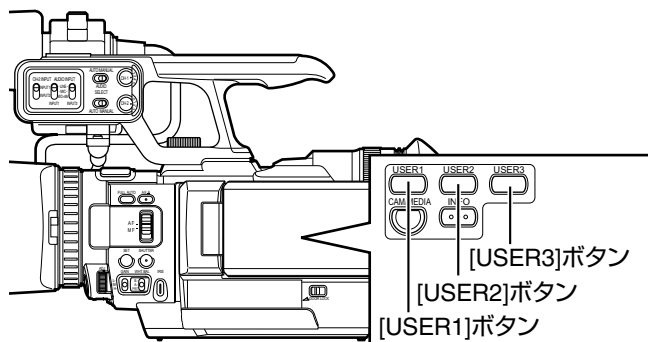
■ 日付・時刻の表示スタイルの変更するには
日付・時刻の表示スタイルはメニューで変更できます。
"日付表示配列" (p. 59)

■ 各動作モードでの日付・時刻表示

カメラモード時	内蔵時計の日付・時刻が表示されます。
メディアモード時	再生しているファイル(映像)の撮影日付・時刻が表示されます。

USER ボタンへ機能を割り付ける

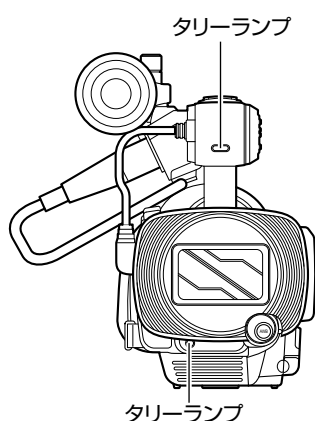
本機は、[USER1]、[USER2]、[USER3]ボタンの3か所にユーザーボタンの機能を備えています。
各ボタンに対してそれぞれ任意の機能を持たせることができます。



- メモ：
- 撮影メニューの"USER1設定"、"USER2設定"、"USER3設定"で、3か所のユーザーボタンそれぞれに"フォーカスアシスト"、"テレマクロ"、"ゼブラ"機能を割り付けることができます。何も設定しないこともできます。(p. 59)

タリーを設定する

タリーランプ点灯の有無を選択できます。
共通メニューの"タリー"で設定します。(p. 60)
"入"に設定時には、録画モードでタリーランプが点灯します。



タッチパネルのボタン位置を調整する

タッチパネルのタッチした時の反応する位置がずれている場合に、ボタン表示位置と操作反応位置との整合性を調整します。

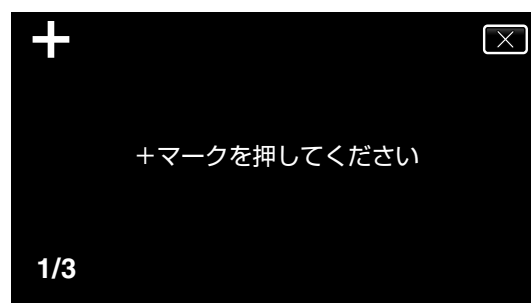
- 共通メニューの"タッチパネル調整"を選択します。

- "MENU"をタッチする
- "⚙️"(共通)をタッチする
- "タッチパネル調整"をタッチする



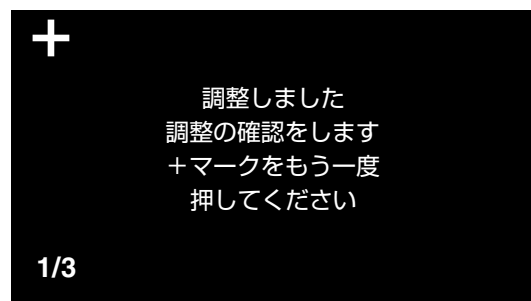
- タッチパネルの調整画面が表示されます。

- "+"をタッチする(合計3回)



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。

- 調整された位置を確認するため、再度 "+" をタッチする(合計3回)



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。
- 調整確認画面で "+" マーク以外の場所をタッチすると、エラーが検出されます。その場合は、手順4からやり直してください。

6 "OK"をタッチする



- 設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

ご注意：

- タッチパネルの調整中(手順 4～5)は、"+"マーク以外の場所をタッチしないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる可能性があります。

メモ：

- SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。
- 先の鋭い物で押したり、強く押したりしないでください。

表示言語を変更する

メニューで表示する言語を設定します。

1 "MENU"をタッチする

2 "⚙"(共通)をタッチする

3 "LANG. / 言語"をタッチする



- 上 または 下 をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 変更する言語をタッチする



SDHC/SDXC カードを入れる

本機には SDHC/SDXC カードスロットが 4 か所備わっています。(スロット A、B、C、および D)

1 [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にする

2 ドアを開ける

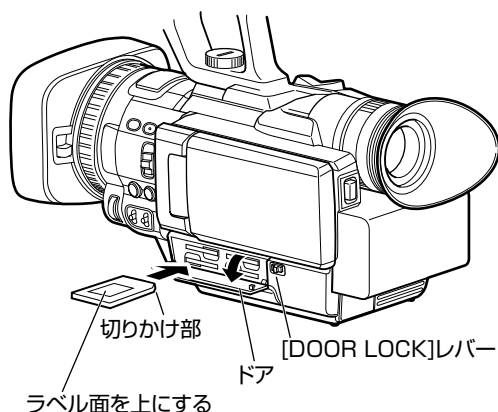
- [DOOR LOCK]レバーを右方向にスライドさせて、ドアを手前に開きます。

3 切りかけ部を奥にして SDHC/SDXC カードをスロットに入れる

- 4K2K 撮影(4K2K モード)の場合、スロット A～D に 4 枚の SD カードを入れます。
すべてのスロットに SD カードを入れると、4 つのメディアアイコンが点灯します。
- HD 撮影(1920 モード)の場合、スロット A に SD カードを入れます。
SD カードを入れると、スロット A のメディアアイコンが表示されます。

4 ドアを閉じる

- ドアを閉じてから[DOOR LOCK]レバーを左方向にスライドさせ、ドアが開かないようにします。



ご注意:

- カードを初めて 4K2K モードで使うときは、あらかじめフォーマットを行わないと撮影ができません。
"SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する" (p. 26) をご覧ください。
- フォーマット済みのカードを入れるときは、4 枚のカードの組み合わせと順番を合わせてください。間違っていると使用できません。
フォーマットしたときのカードの組み合わせと順番は、忘れないようにメモに残しておいてください。

使用する SDHC/SDXC カードについて

"SDHC/SDXC カードについて" (p. 7)をご覧ください。

スロット表示について

以下の場合、該当するスロット表示のアイコンが点滅します。

- カードが書き込み不可になっている
- Class 6 以上に対応したカードを使用していない
- カードに異常がある
- スロットにカードが入っていない

4K2K モードのときに以下の場合、4 つのスロット表示のアイコンが点滅します。

- カードが入っていないスロットがある
- 4 枚のカードの組み合わせが違う
- 未フォーマットのカードがある

SDHC/SDXC カードを取り出すには

1 [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にする

2 ドアを開ける

- [DOOR LOCK]レバーを右方向にスライドさせて、ドアを手前に開きます。

3 SDHC/SDXC カードを押して、取り出す

4 ドアを閉じる

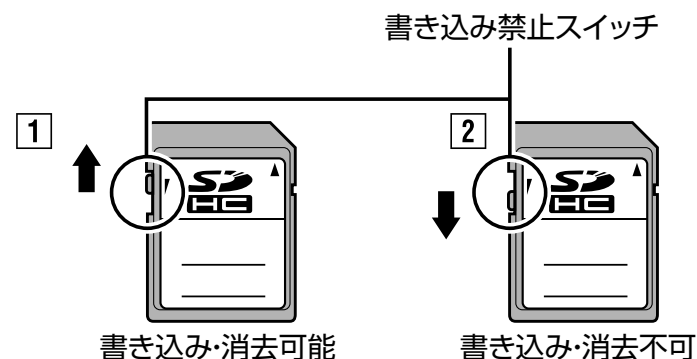
- ドアを閉じてから[DOOR LOCK]レバーを左方向にスライドさせ、ドアが開かないようにします。

メモ:

- SDHC/SDXC カードの挿入や取り出し時、SDHC/SDXC カードの金属端子部に触れないでください。

SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチについて

- 1 書き込み禁止スイッチを上スライドすると書き込み・消去が可能となります。
- 2 書き込み禁止スイッチを下スライドすると書き込み・消去ができなくなります。(カード内のデータを保護できます。)



SDHC/SDXC カードの記録可能時間のめやす

記録可能時間はめやすです。お使いになる SDHC/SDXC カード、バッテリーの状態によって異なることがあります。

記録方式	画質	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
4K2K モード		15 分	30 分	1 時間	2 時間	3 時間	4 時間
1920 モード	60p/50p	15 分	35 分	1 時間 10 分	2 時間 30 分	3 時間 50 分	5 時間
	UXP	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	4 時間 10 分	5 時間 40 分
	XP	30 分	1 時間	2 時間	4 時間	6 時間	8 時間 10 分
	SP	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 30 分	11 時間 30 分
	EP	1 時間 40 分	3 時間 30 分	7 時間 10 分	14 時間 40 分	21 時間 30 分	28 時間 50 分

- メモ：
- SDHC/SDXC カード内に、本機以外で記録したファイルや、パソコンなどで書き込んだファイルがある場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。

SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する

カードを初めて 4K2K モードで使うときは、あらかじめフォーマットを行う必要があります。本機メニューでフォーマットを行なってください。

- ご注意：
- SDHC/SDXC カードのフォーマットは必ず本機で行なってください。パソコンや周辺機器などでフォーマットした SDHC/SDXC カードは本機で使用できません。
 - 4 枚のカードの組み合わせと挿入位置が間違っていると使用できません。フォーマットしたときのカードの組み合わせと挿入位置を忘れないようにしてください。

- "MENU"をタッチする
- "⚙️"(共通)をタッチする
- "SDフォーマット"をタッチする



4 "ファイル"または"ファイル+管理番号"を選択する

設定	内容
ファイル	SD カードのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	SD カードのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

- 5 警告文を確認してから、"はい"をタッチする
- フォーマットが開始されます。
 - フォーマットが終わったら、"OK"をタッチします。

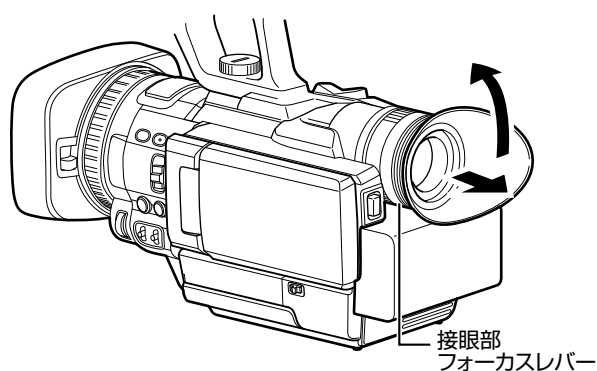
- ご注意：
- SD カードが入っていないときは選べません。
 - フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
 - フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

ビューファインダー/液晶モニターで見る

本機は、ビューファインダーまたは液晶モニターで映像をモニターできます。

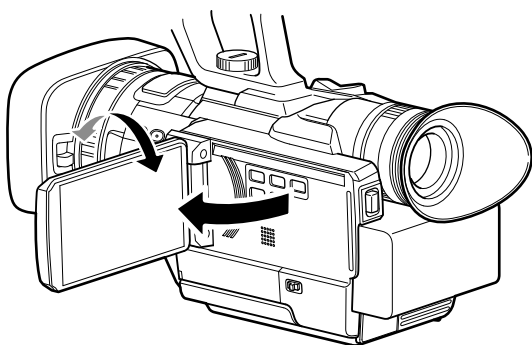
■ ビューファインダーで見る

- 1 ビューファインダーを引き出す
- 2 ビューファインダーを垂直方向に傾けて、見やすい位置にする
- 3 接眼部フォーカスレバーをまわしてフォーカス調整する



■ 液晶モニターで見る

- 1 モニターカバーをひらく
- 2 モニターカバーを傾け、見やすい位置にする



■ ビューファインダーと液晶モニターの画面表示の関係

共通メニューの"優先設定" (p. 60)が"ファインダー"のとき

VF の状態	LCD の状態	映像出力
OFF	OFF	VF
OFF	ON	LCD
ON	OFF	VF
ON	ON	VF

共通メニューの"優先設定"が"液晶モニター"のとき

VF の状態	LCD の状態	映像出力
OFF	OFF	VF
OFF	ON	LCD
ON	OFF	VF
ON	ON	LCD

■ 液晶モニターの明るさを調整する

共通メニューの"モニター明るさ"で設定します。
"モニター明るさ" (p. 60)

撮影モードを選択する

フルオート/ マニュアル撮影モードを選択する

撮影の調整モードはフルオートとマニュアルの2つのモードがあります。

■ フルオート撮影モードにする

[FULL AUTO]ボタンを1回押すと、現在の調整モードが表示されます。モード表示中、[FULL AUTO]ボタンを押すと設定が変わりません。

- 1 [FULL AUTO]ボタンを押して、画面上部にフルオート撮影モードのアイコン(**A**)を表示させる

- 明るさ、絞り、シャッタースピード、ホワイトバランスなどを自動で調整します。

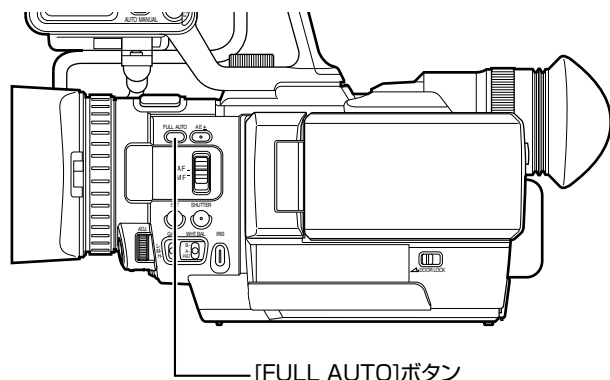
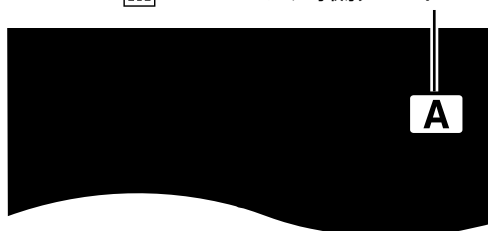
■ マニュアル撮影モードにする

- 1 [FULL AUTO]ボタンを押して、画面上部にマニュアル撮影モードのアイコン(**M**)を表示させる

- マニュアル撮影モードにしても、絞りアイコンやシャッタースピードアイコンが消えている場合、絞りやシャッタースピードはオートで動作します。
- シャッタースピードをマニュアルで動作させる場合は、[SHUTTER]ボタンを押し、[ADJ.]ダイヤルで値を可変できます。
"シャッタースピードを調整する" (p. 35)
- 絞りをマニュアルで動作させる場合は、[IRIS]ボタンを押し、[ADJ.]ダイヤルで値を可変できます。
"絞りを調整する" (p. 36)

A : フルオート撮影モード

M : マニュアル撮影モード



フォーカス調整モードを選択する

フォーカス調整方法は、オートとマニュアルの2つあります。

■ オートフォーカスモードにする

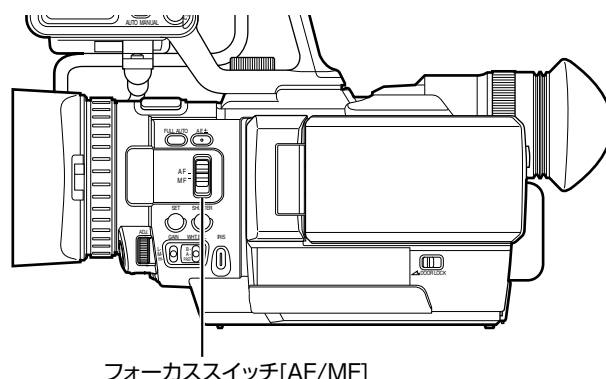
- 1 フォーカススイッチを[AF]にして、画面にオートフォーカスのアイコン(AF)を表示させる
 - 自動でピントをあわせませす。

■ マニュアルフォーカスモードにする

- 1 フォーカススイッチを[MF]にして、画面にマニュアルフォーカスのアイコン(MF)を表示させる

- 手動でピントをあわせませす。(p. 31)

"AF" : オートフォーカスモード
"MF" : マニュアルフォーカスモード



映像の記録方式および記録モードを選択する

本機では、4K2K 撮影(4K2K モード)および HD 撮影(1920 モード)ができます。

- 4K2K 撮影:
フルハイビジョンの約 4 倍にあたる 4K2K(水平 3840×垂直 2160)の超高精細映像
- HD 撮影:
フルハイビジョン(水平 1920×垂直 1080)の高精細映像

映像の記録方式を選択する

撮影する映像の記録方式を選択します。

- 撮影メニューの "システムセレクト" から選択します。

項目	録画モード
3840X2160/60p	4K2K モード (4K2K 撮影のとき選択します。)
3840X2160/24p	
3840X2160/50p	
1920X1080/60i※	1920 モード (HD 撮影のとき選択します。)
1920X1080/60p	
1920X1080/50i※	
1920X1080/50p	

※ 撮影メニューの "記録モード" を設定できます。

メモ: _____

- 1920 モードの場合、フレームレートが 60i/p と 50i/p は同じ SDHC/SDXC カードに混在できません。

記録モードを選択する(HD 撮影のみ)

HD 撮影の記録画質を選択します。

- 撮影メニューの "記録モード" から選択します。

項目	内容
UXP	最高画質で撮影できます。
XP	高画質で撮影できます。
SP	標準画質で撮影できます。
EP	長時間撮影ができます。

撮影する

準備: "撮影モードを選択する" (p. 28)

準備: "映像の記録方式および記録モードを選択する" (p. 29)

本機には、撮影をするための [REC] ボタン(背面部、上面部)、およびタッチパネルの "REC" ボタンの 3 つがあります。

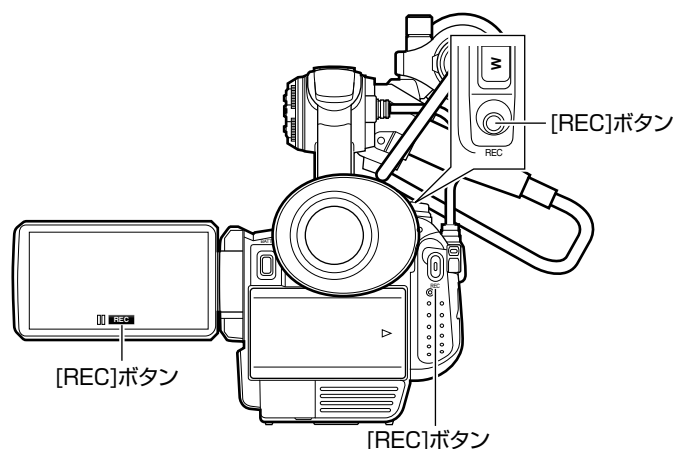
いずれのボタンでも操作できます。

1 [REC] ボタンを押す

- 録画をはじめます。

2 [REC] ボタンを押す

- 録画を停止します。



メモ: _____

- 本体内部の保護のためファンを回しています。
- 動作音がすることがありますので、外部マイクを使用することをお勧めします。
- 長時間の撮影では、自動的に最大 4GB のファイルに分割されます。
- SDHC/SDXC カードの容量がなくなると録画を停止します。
- 撮影中に温度が上昇すると、●REC が黄色に変化してお知らせします。

■ 4K2K 撮影(4K2K モード)について

- スロット A~D に、SDHC/SDXC カードを入れてください。
"SDHC/SDXC カードを入れる" (p. 25)
- カードを初めて 4K2K モードで使うときは、あらかじめフォーマットを行う必要があります。
"SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する" (p. 26)
- 再生したときに、映像の境目が気になるときは、撮影メニューの "エッジブレンド" を "16 ピクセル" (初期設定) に設定してください。
"エッジブレンド" (p. 58)

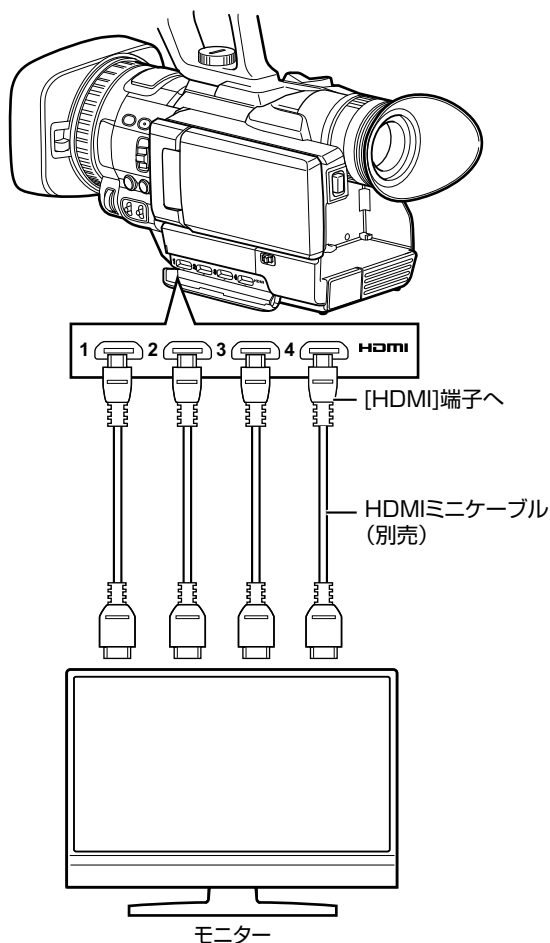
■ HD 撮影(1920 モード)について

- スロット A に、SDHC/SDXC カードを入れてください。
(p. 25)

撮影前にモニターで映像を確認する

■ 4K2K モードで撮影する場合

1 モニターに接続する



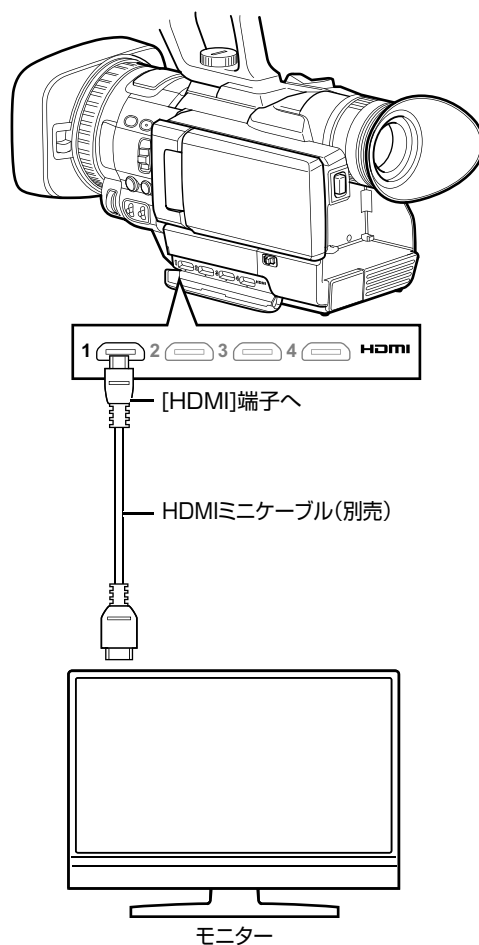
- 4K2K 出力に対応したモニターに 4 か所の[HDMI]端子すべてを接続してください。
4 か所すべての[HDMI]端子が接続されていない場合、4K2K 出力されません。
- [HDMI 1]端子のみ接続している場合は、1920 モードで出力されます。

メモ： _____

- 4K2K モードで撮影するとき、モニターにはメニューは表示しません。
- 撮影中に温度が上昇すると、 マークが表示されることがあります。
この表示が出たとき撮影は続けますが、本体内部の保護のため[HDMI]端子からの出力を停止します。
再度モニターで映像を楽しむためには、撮影を終了した後しばらくしてから HDMI ミニケーブルを接続しなおすか、本体の電源を入れなおしてください。

■ 1920 モードで撮影する場合

1 モニターに接続する



- [HDMI 1]端子とモニターを接続してください。
[HDMI 1]端子以外と接続した場合、映像は出力されません。

ズームする

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード

撮影したい画角を調整します。

- 視野を広く撮影するときは、**W** 側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、**T** 側(望遠側)にしてください。

• ズーム倍率:

10 倍光学

20 倍ダイナミック(1920 モードのみ)※

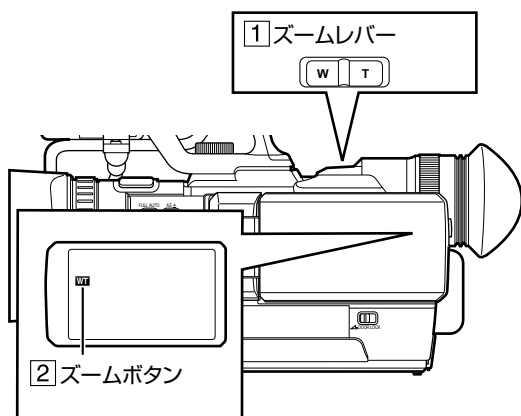
※ 撮影メニューの "ズーム倍率" で設定します。

"ズーム倍率" (p. 58)

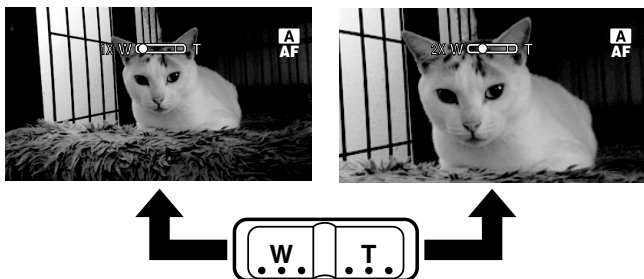
- ズームは、下記の 2 か所で操作できます。

1 本機上部のズームレバー

2 タッチパネル部のズームボタン(W/T)



■ ズーム操作中、ズームバーが表示されます。



手動でピントをあわせる

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード

■ マニュアルフォーカスモードにする

1 フォーカススイッチを**[MF]**にして、画面にマニュアルフォーカスアイコン(MF)を表示させる

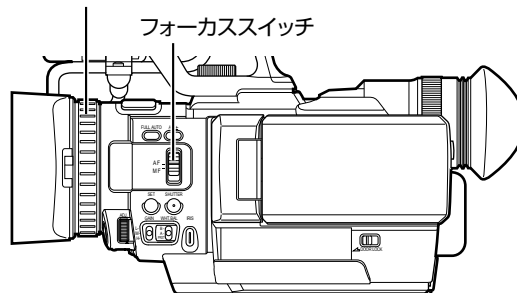
"MF": マニュアルフォーカスモード



2 マニュアルリングをまわしてフォーカス調整する

- フォーカスアシスト機能を使用すると、ピントあわせが簡単になります。

マニュアルリング

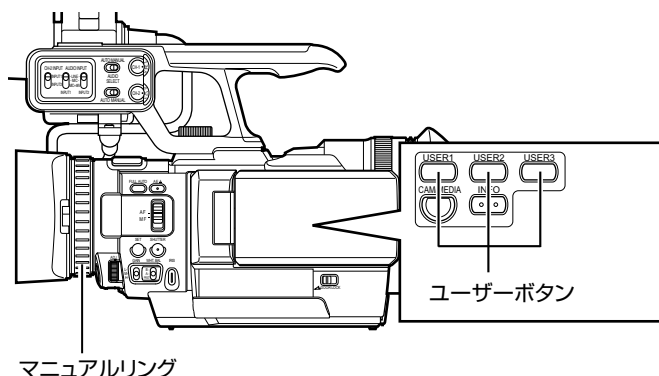


フォーカスアシスト機能を使う

画面を一時的にモノクロにし、ピントのあった画像の輪郭線に色をつけます。

フォーカスアシスト機能を動作させる方法は下記の2つです。

- 1 撮影メニューの"フォーカスアシスト"を"入"に設定する
"フォーカスアシスト" (p. 56)
- 2 ユーザーボタンにフォーカスアシスト機能を割り付け、
該当のユーザーボタンを押す
 - 撮影メニューの"USER 1 設定"/"USER 2 設定"/"USER 3 設定"のいずれかを"フォーカスアシスト"に設定します。(p. 59)



ピントをあわせたい部分に色が付くようにマニュアルリングをまわします。

■ フォーカスアシストをやめる

撮影メニューの"フォーカスアシスト"を"切"に設定する。
"フォーカスアシスト" (p. 56)

または、フォーカスアシスト機能を設定しているユーザーボタンを押す。

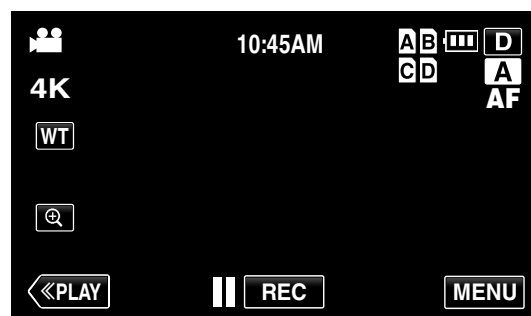
メモ: _____

- 輪郭色を変える場合は、撮影メニューの"アシストカラー"を設定します。
("マルチカラー"/"赤"/"緑"/"青")
 - "マルチカラー"を選択すると、ピント度合いの強さによって輪郭線の色が赤、緑、青の順に変わります。
 - 暗い所などでフォーカスアシストを使うと、ざらついた部分に色が付いて輪郭色が見えにくくなります。
 - 共通メニューの"テレビ表示"の設定に関係なく、4K2K 出力に対応したモニターにはフォーカスアシストの表示は出力されません。
- "テレビ表示" (p. 60)

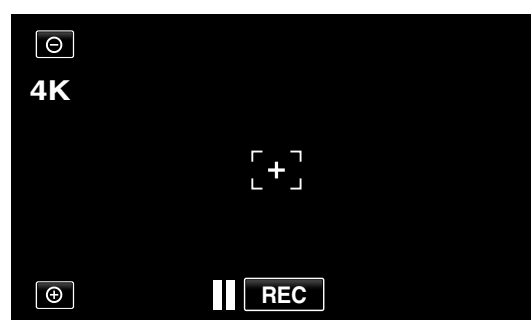
拡大表示機能を使う

ピントを合わせたい箇所の画面表示を拡大して、ピントを合わせやすくします。

1 [Q] をタッチする

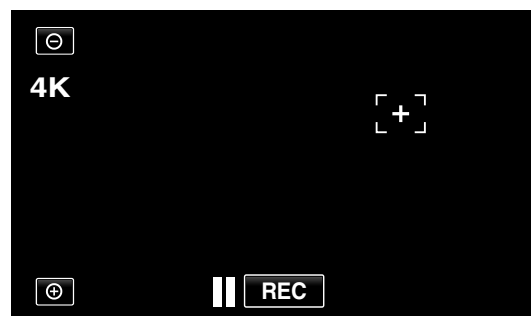


2 拡大したい箇所をタッチする



- タッチした箇所に "+" マークが移動します。

3 [⊕] をタッチする



- "+" マークを中心に表示を拡大します。
- 画面をタッチすると、表示位置を移動できます。
- [⊖] をタッチすると、手順 2 の画面に戻ります。
手順 2 の画面でもう一度 [⊖] をタッチすると、通常の撮影画面に戻ります。

メモ: _____

- 4K2K モードのみ拡大表示できます。
- 4K2K 出力に対応したモニターでは、拡大表示はできません。

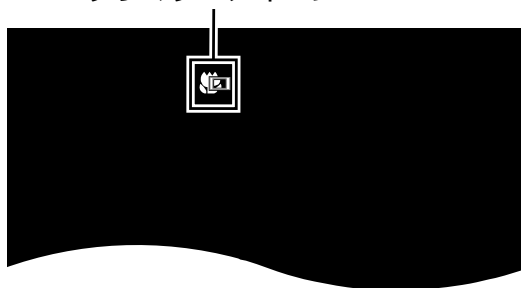
テレマクロ機能を使う

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
 ズームの望遠 (T) 側で接写できる距離を短くします。
 (1m → 約 60cm)

この機能は、2 つの方法で設定できます。

- 1 撮影メニューの "テレマクロ" を "入" に設定する
 - メニューからの設定は、マニュアルモードしかできません。
 "テレマクロ" (p. 57)
- 2 ユーザーボタンにテレマクロ機能を割り付け、該当のユーザーボタンを押す
 - 撮影メニューの "USER 1 設定"/"USER 2 設定"/"USER 3 設定"のいずれかを "テレマクロ" に設定します。
 (p. 23)
 - テレマクロ機能が "入" 時、画面にテレマクロアイコンが表示されます。

テレマクロアイコン



ゼブラパターンを表示する

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
 撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様 (ゼブラパターン) を表示します。ゼブラパターンを表示する明るさの範囲を設定できます。

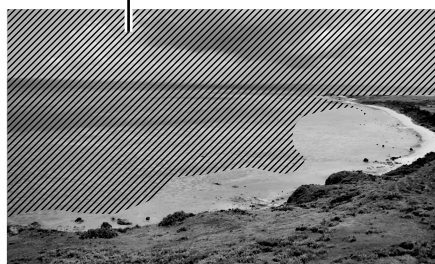
ゼブラパターンを表示する方法は、2 つあります。

- 1 撮影メニューの "ゼブラ" を "70-80%" または "OVER 100%" に設定する
 "ゼブラ" (p. 56)
- 2 ユーザーボタンにゼブラ機能を割り付け、該当のユーザーボタンを押す
 - 撮影メニューの "USER 1 設定"/"USER 2 設定"/"USER 3 設定"のいずれかを "ゼブラ" に設定します。
 (p. 23)
 - ユーザーボタンを押すたびに、"切"、"70-80%"、"OVER 100%" の順に切り換わります。

■ 設定値

- 70-80%:
 白とびに近い (明るい) 場所を、しま模様で表示します。
- OVER 100%:
 白とびした (明るすぎる) 場所を、しま模様で表示します。

ゼブラパターン



■ ゼブラパターン表示を消す

ゼブラパターン表示を消す方法は以下の 2 つです。

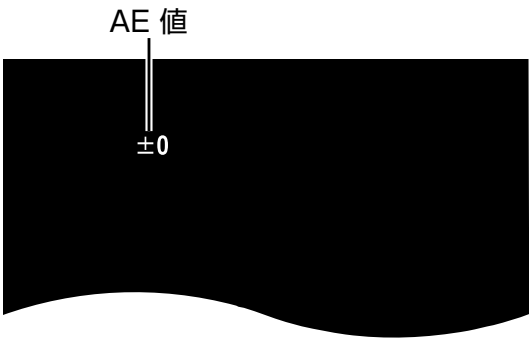
- 撮影メニューの "ゼブラ" を "切" に設定する。
- 撮影メニューの "ゼブラ" に設定したユーザーボタンを押す。

明るさを手動補正する

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
撮影している被写体の明るさは、カメラ本体の基準値で自動調整していますが、撮影状況によって、映像の明るい部分や暗い部分が見えにくくなることがあります。これを防ぐため、手動で明るさを補正できます。

1 明るさ手動補正モードにする

- 本体の**[AE ±]**ボタンを押します。
- 画面に AE 値が表示され、調整モードになります。

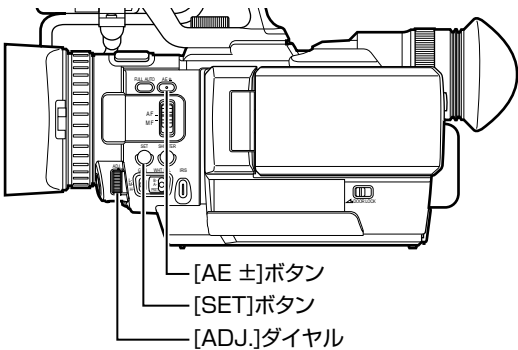


2 明るさを補正する

- 本体の**[ADJ.]**ダイヤルを操作します。
- 上に回すと値が大きくなり、映像が明るくなります。
- 下に回すと値が小さくなり、映像が暗くなります。

3 設定値を決定する

- 本体の**[SET]**ボタンを押します。
- マニュアル設定が確定します。
(設定値(-6 ~ +6) は画面に表示されています。)



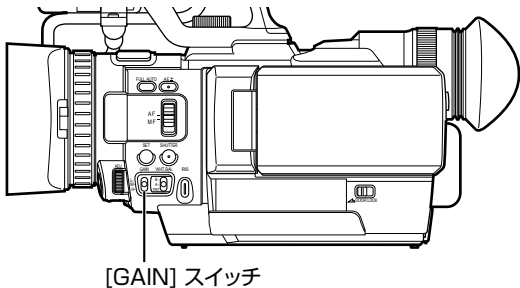
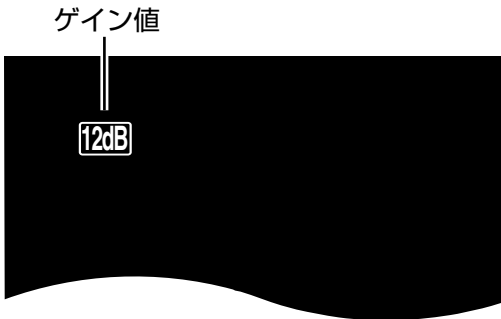
■ 明るさ補正をオートにする

1 AE 値の表示が消えるまで数回、**[AE ±]**ボタンを押す

マニュアルゲイン調整をする

適用: **[M]** マニュアル撮影モード
本機の**[GAIN]**スイッチで映像アンプのゲインを選択します。スイッチの各ポジションは工場出荷時に下記のように設定されています。
被写体の照度が不足している場合、**[GAIN]**スイッチの設定で電氣的に増感できます。(3 ポジション)

[GAIN]スイッチ	内容
L	0dB(増感はいきません。)
M	9dB(約 3 倍に増感します。)
H	18dB(約 8 倍に増感します。)



- メモ: _____
- 各ポジションのゲイン値は、撮影メニューの "G A I N L"/"G A I N M"/"G A I N H"で "0 d B" ~ "1 8 d B" の範囲 (3dB ステップ)、"A G C"および "スローシャッター"に設定変更することができます。(☞ p. 57)
 - 増感するほど、画面はザラついた感じになります。

自動ゲインモード(自動ゲイン調整)

本機をフルオート撮影モードにすると、自動ゲイン調整モードとなり、被写体の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動的に設定します。
("スローシャッター"選択時はスローシャッターとなり、"スローシャッター"以外を選択している場合はすべて "A G C"となります。)

シャッタースピードを調整する

適用:  マニュアル撮影モード

任意のシャッタースピードを設定します。オートに設定した場合、自動でシャッタースピードを制御します。

1 マニュアル撮影モードにする

2 シャッタースピード調整モードにする

- [SHUTTER]ボタンを押し、シャッタースピード調整モードにします。
- マニュアルモードで最後に設定したシャッタースピードの値が表示されます。

3 シャッタースピードの値を設定する

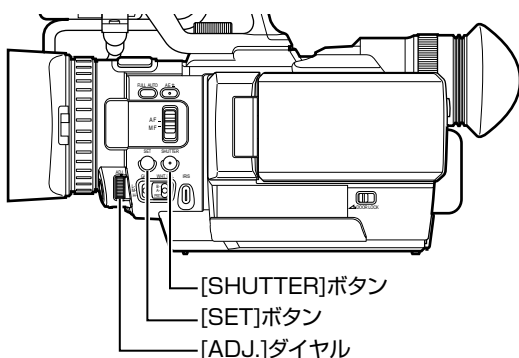
- [ADJ.]ダイヤルを操作します。
- 選択している値が表示されます。

シャッタースピード



4 シャッタースピードを確定する

- [SET]ボタンを押します。
- 調整モードを終了し、シャッタースピードが表示されます。



■ 設定値

- フレームレート 60/50
1/2、1/2.5、1/3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/120、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000、1/2500、1/3200、1/4000
- フレームレート 24
1/24、1/32、1/40、1/48、1/60、1/80、1/100、1/120、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000、1/2500、1/3200、1/4000

■ シャッタースピードをオートにする

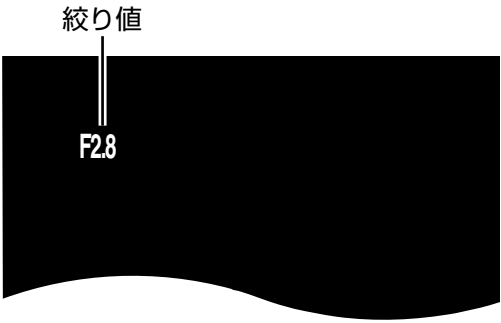
- 1 シャッタースピードの値の表示が消えるまで数回、[SHUTTER]ボタンを押す

絞りを調整する

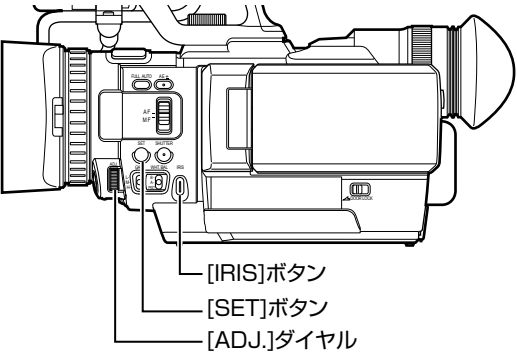
適用: **M** マニュアル撮影モード
レンズの絞り (F 値) を設定します。

F 値	内容
小さくする	被写体が明るくなります。 ピントのあう範囲が鋭くなり、背景がボケた柔らかな印象の映像になります。
大きくする	被写体が暗くなります。 背景までピントのあった映像になります。

- 1 マニュアル撮影モードにする
- 2 絞り調整モードにする
 - [IRIS]ボタンを押し、絞り調整モードにします。
 - 現在の F 値が表示されます。
- 3 F 値を設定する
 - [ADJ.]ダイヤルを操作します。
 - 選択している F 値が表示されます。



- 4 F 値を確定する
 - [SET]ボタンを押します。
 - 調整モードを終了し、F 値が表示されます。



- 設定値
 - F2.8 ~ F5.6 (7 ステップ)
絞りの開放 F 値はズームの位置で変わります。
広角(W)端側: F2.8
望遠(T)端側: F4.5
- メモ:

 - ズームを望遠にした場合は、ズームに応じた絞り値が設定され、黄色で表示されます。
ズームを広角にすると、最小値が設定できるようになります。

- 絞りをオートにする
 - 1 F 値の表示が消えるまで数回、[IRIS]ボタンを押す

ホワイトバランスを調整する

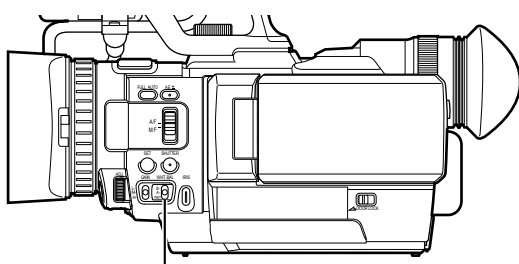
適用:  マニュアル撮影モード

1 マニュアル撮影モードにする

- [WHT.BAL]スイッチでホワイトバランスを選択します。
- [WHT.BAL]スイッチで3種類のホワイトバランスの切り換えができます。

[WHT.BAL] スイッチ	内容
B	[B]位置にメモリーされたホワイトバランスに切り換わります。この位置でオートホワイトバランス調整を行うと、調整したホワイトバランスが[B]位置にメモリーされます。
A	[A]位置にメモリーされたホワイトバランスに切り換わります。この位置でオートホワイトバランス調整を行うと、調整したホワイトバランスが[A]位置にメモリーされます。
PRST(PRESET)	撮影メニューの"基本色温度設定"で設定したホワイトバランス("3200K"または"5200K")になります。 "基本色温度設定" (p. 56)

ホワイトバランスアイコン



[WHT.BAL]スイッチ

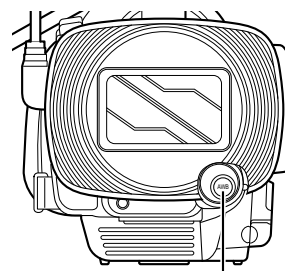
メモ: _____

- FAW(フルオートホワイトバランス)モードを[WHT.BAL]スイッチに割り付けできます。
"FAW" (p. 57)

オートホワイトバランス調整をする

光源によって光の色(色温度)が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。ホワイトバランス[A]と[B]の2タイプをメモリーに記憶することができます。

- 1 マニュアル撮影モードにする
- 2 [WHT.BAL]スイッチを[A]または[B]にする
- 3 被写体と同じ照明条件のところで画面の中央付近に白いものを置き、ズームアップして画面に白を映す
- 4 [AWB]ボタンを押す



[AWB] ボタン

- オートホワイトバランス調整中は"AUTO WHITE *設定中"と表示されます。
- 正しくホワイトバランスがとれると約3秒間"AUTO WHITE *設定終了"と表示されます。



[AWB] 起動中



結果表示

ご注意: _____

- 金属など、反射光の強い被写体を置かないでください。正しくホワイトバランスがとれないことがあります。
- 被写体の色が一色しかない場合や、白が少ないなどオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。

■ エラーメッセージ

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージが約 5 秒間表示されます。

エラーメッセージ	状況
被写体不良	被写体不良です。 被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。 白い被写体に変更し、ホワイトバランスを取り直してください。
光量不足	光量不足です。 照明が暗いときに表示されます。照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
光量過剰	光量過剰です。 照明が明るすぎるときに表示されます。照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

カメラ画を調整する

適用: **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード
下記の撮影メニューでカメラの画質を設定します。設定値を変えるごとに画面に反映しますので、カメラ画質を確認しながら調整できます。

- "ガンマ" (p. 56)
- "ガンマレベル" (p. 56)
- "カラーマトリックス" (p. 56)

各項目の詳細は、撮影メニューの各項目をご覧ください。

フルオートホワイト(FAW)機能を使う

照明条件の変化に応じて、その条件にあったホワイトバランス値に自動調整されます。

このモードは、新たにホワイトバランス調整をとる時間がないときや、照明条件の異なる場所を本機が頻繁に出入りする場合などに便利です。

- 1 マニュアル撮影モードにする
- 2 撮影メニューの "FAW" を設定する

"FAW" (p. 57)
[WHT.BAL]スイッチの 3 ポジション([A]、[B]、[PRST(PRESET)])のいずれかに、FAW(自動ホワイトバランス)機能を割りつけることができます。

- 3 [WHT.BAL]スイッチを FAW 機能を割り付けた位置に設定する

メモ: _____

- 本機をフルオート撮影モードにすると、フルオートホワイトモードとなり、被写体の照明色温度に応じてホワイトバランスを自動的に調整します。
- これらの場合、[WHT.BAL] 選択スイッチでのホワイトバランス切り換え操作は無効となります。

ご注意: _____

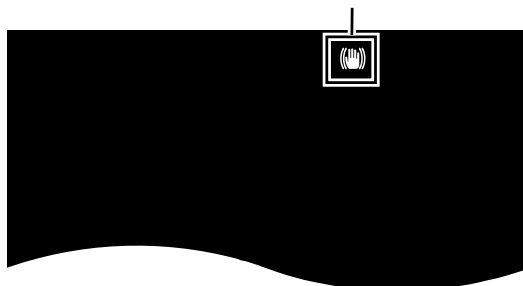
- 被写体が一色しかない場合や白が少ないなどフルオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。
- FAW の精度はオートホワイトバランスより劣ります。
- FAW モードで電源を入れると、FAW の自動調整が終了するまで約 10 秒かかります。その間は録画しないでください。

手ぶれ補正機能を使用する

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
手ぶれによる映像のブレを低減します。

- 撮影メニューの "手ぶれ補正" を "入" に設定します。
"手ぶれ補正" (📷 p. 57)

手ぶれ補正アイコン



メモ: _____

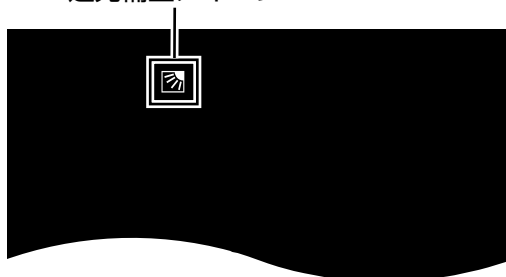
- 映像のぶれが大きい場合、補正しきれないことがあります。

逆光補正を設定する

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
逆光によって、被写体が暗くなるのを補正します。

- 撮影メニューの "逆光補正" を "入" に設定します。
"逆光補正" (📷 p. 56)

逆光補正アイコン

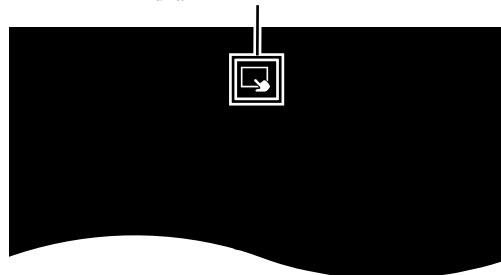


タッチ優先AE / AFを設定する

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
タッチした場所の情報を基にしてピントや明るさを自動調整します。

- 撮影メニューの "タッチ優先AE / AF" を "入" に設定します。
"タッチ優先AE / AF" (📷 p. 57)

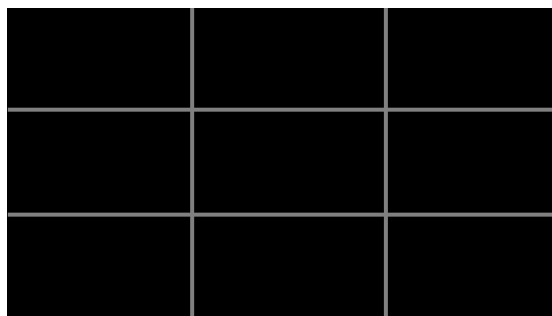
タッチ優先AE / AFアイコン



グリッドを設定する

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード
被写体の傾きがわかるように格子状の線を表示します。

- 撮影メニューの "グリッド" を "入" に設定します。
"グリッド" (📷 p. 58)



微速度撮影を設定する(タイムラプス撮影)

適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード

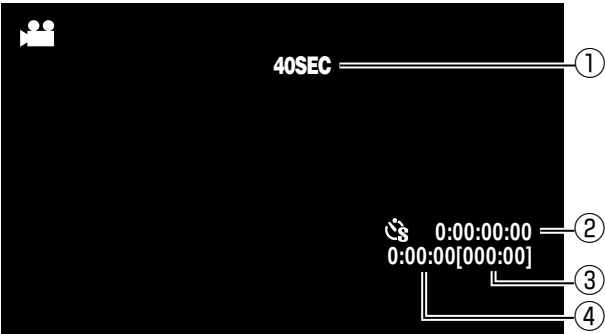
一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。

- 撮影メニューの"タイムラプス撮影"を"1秒間隔"/"5秒間隔"/"40秒間隔"のいずれかに設定します。(参照 p. 58)

メモ: _____

- 設定した撮影間隔で1コマ撮影をします。

■ タイムラプス撮影中の画面表示



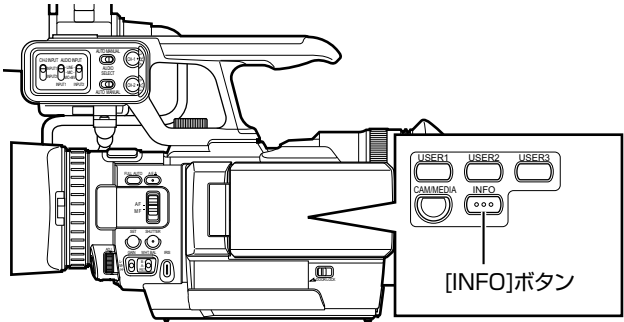
NO	画面表示	説明
①	微速度表示	設定している撮影間隔を表示します。
②	実記録時間	実際に撮影した動画の記録時間を表示します。記録時間はフレーム単位で増加します。
③	撮影可能時間	設定中の動画画質で録画可能な残り時間です。
④	撮影経過時間	撮影を開始してから実際の経過時間を表示します。

残量時間を確認する

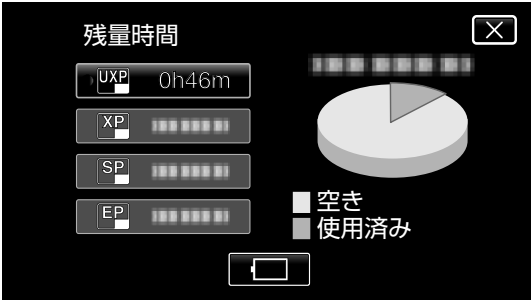
適用: **[A]** フルオート撮影モード **[M]** マニュアル撮影モード

SDHC/SDXC カードに記録できる残量時間やバッテリー残量を確認できます。

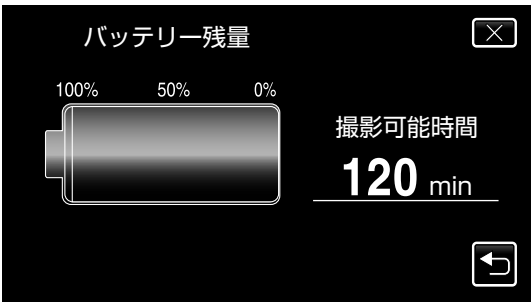
1 [INFO]ボタンを押す



- 残量時間が表示されます。



- AC アダプターを接続しているときは、 は表示されません。
- もう一度[INFO]ボタンを押すと、撮影可能時間が表示されます。



- AC アダプターを接続しているときは、バッテリー残量は表示されません。

録音する

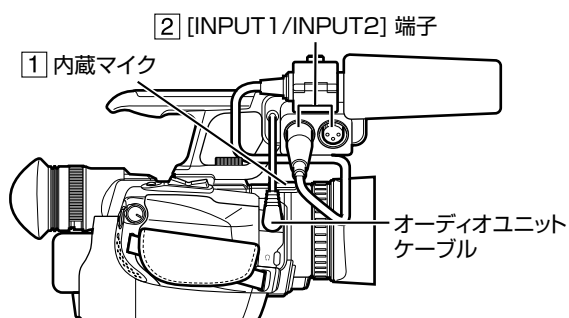
適用: カメラモード

音声入力する方法は、以下の2つです。

① 内蔵マイク

② [INPUT1]端子・[INPUT2] 端子

- 入力の優先順位は、② > ① となります。
- 内蔵マイクを使用したい場合は、オーディオユニットのケーブルを[AUDIO IN]端子からはずしてください。
- [INPUT1/INPUT2] 端子を使用したい場合は、別売のマイクが必要になります。



基準録音レベルを設定する

適用: [A] フルオート撮影モード [M] マニュアル撮影モード

■ メニュー設定

撮影メニューの "オーディオ基準レベル" を設定する ("−20dB"/"−12dB") (p. 58)

内蔵マイクを使用する

適用: [A] フルオート撮影モード [M] マニュアル撮影モード

■ 入力レベルを設定する

撮影メニューの "内蔵マイクレベル設定" を設定する ("−2" ~ "+2") (p. 58)

[INPUT1/INPUT2]端子の外部マイクを使用する

※マイクは、別売です。

適用: [A] フルオート撮影モード [M] マニュアル撮影モード

準備: [INPUT1/INPUT2] 端子にマイクを接続します。

端子	音声入力
INPUT1	常に[CH1(L)]に入力されます。また、[CH-2 INPUT] スイッチ設定で[CH2(R)]にも入力します。
INPUT2	[CH-2 INPUT] スイッチ設定で[CH2(R)]に入力します。

■ [CH-2]音声を選択する

[CH-2 INPUT] スイッチを設定する。

- INPUT1: [INPUT1]端子の音声を[CH-2]に入力します。
- INPUT2: [INPUT2]端子の音声を[CH-2]に入力します。

メモ:

- [INPUT1]端子の音声は、設定に関係なく[CH-1]にも入力します。

■ [INPUT1]端子または[INPUT2]端子に入力する音声を選択する

[AUDIO INPUT 1/2] スイッチを設定する。

項目	内容
LINE	オーディオ機器などを接続するとき、この設定にします。
MIC	ダイナミックマイクを接続するとき、この設定にします。
MIC+48V	+48V の電源供給が必要なマイク(ファントムマイク)を接続するとき、この設定にします。

ご注意:

- +48V の電源供給が不要な機器を接続するときは、[MIC+48V]の位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。

■ 録音レベルを調整する

録音レベル調整方法を選択する

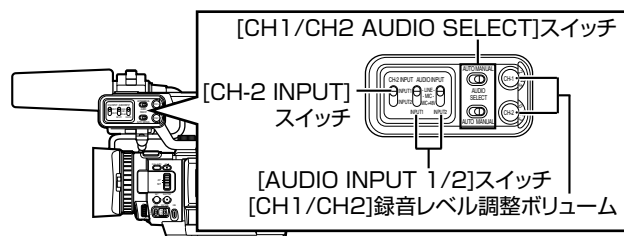
- [CH1/CH2 AUDIO SELECT]スイッチを設定する
- チャンネル別に[AUTO]モードにするか[MANUAL]モードにするか選択します。

AUTO:

自動調整モードで使用するとき、この設定にします。

MANUAL:

手動調整モードで使用するとき、この設定にします。[CH1/CH2]録音レベル調整ボリュームで録音レベルを調整します。



風きり音を減らす

各マイクに対して風きり音を低減できます。

■ メニュー設定

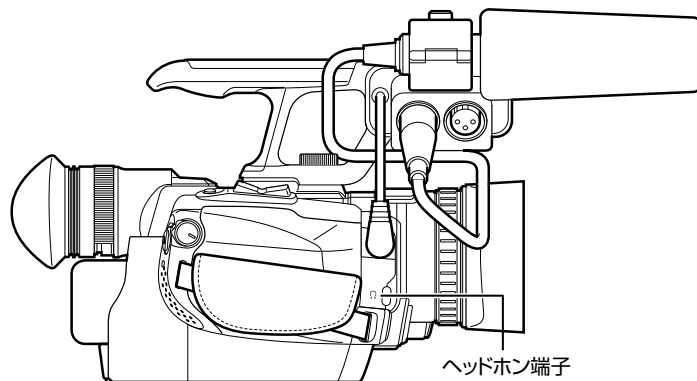
撮影メニューの"ウィンドカット"の各項目を"入"に設定します。
"ウィンドカット" (p. 58)

ヘッドホンで音声をモニターする

適用: カメラモード、メディアモード

1 ヘッドホンを接続する

- ヘッドホンをヘッドホン端子に接続します。

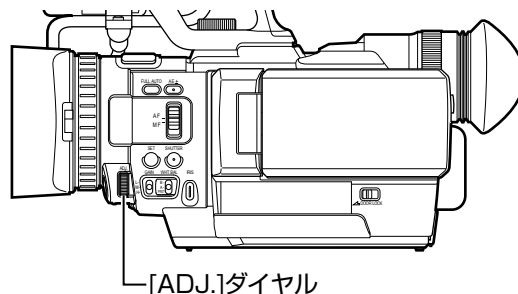


2 ヘッドホン音声をミックス音声にするかステレオ音声にするかを設定する

- 撮影メニューの"オーディオモニター"の設定をします。
("MIX"/"STEREO") (p. 59)

3 ヘッドホンの音声レベルを調整する

- [ADJ.]ダイヤルを操作します。



メモ:

- 内蔵スピーカーはメディアモード時のみ使用できます。カメラモード時、内蔵スピーカーから音声はできません。
- カメラモード時とメディアモード時の音声レベルはそれぞれ独立して調整されます。
- メディアモード時、ヘッドホン音量とスピーカー音量は同時に調整されます。
- 内蔵スピーカーはヘッドホン端子が接続されている場合は使用できません。

動画を再生する

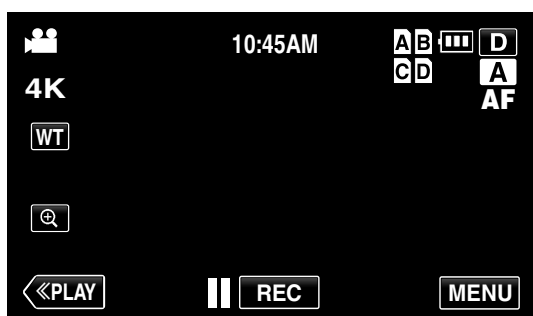
撮影した動画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。

■ 4K2K モードの再生

準備: スロット A~D に、4K2K モードで同じ組み合わせで撮影した SDHC/SDXC カードを入れます。

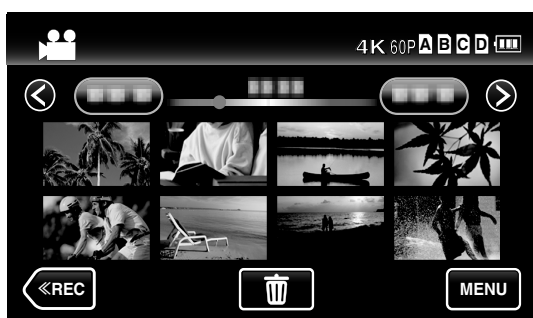
"SDHC/SDXC カードを入れる" (p. 25)

1 "<<PLAY"をタッチして、再生モードにする



- カメラモード時に[CAM/MEDIA]スイッチを回すか、または[CAM/MEDIA]ボタンを押すと、本機がメディアモードとなり、再生できます。

2 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- 再生中に || をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に [] をタッチすると、一覧表示に戻ります。

ご注意:

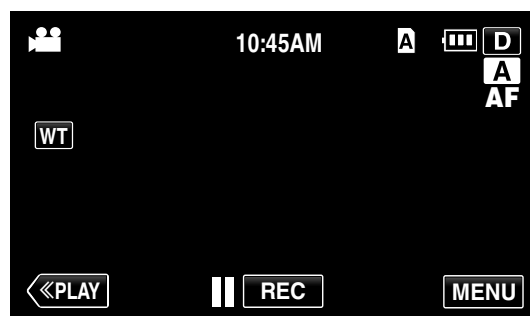
- SDHC/SDXC カードの組み合わせが正しくないときは、"カードの組み合わせが正しくありません"が表示されます。同じ組み合わせの SDHC/SDXC カードを入れてください。
- SDHC/SDXC カードが正しいスロットに挿入されないときは、"カードが正しいスロットに挿入されていません"が表示されます。正しいスロットに入れ直してください。

■ 1920 モードの再生

準備: スロット A に、1920 モードで撮影した SDHC/SDXC カードを入れます。

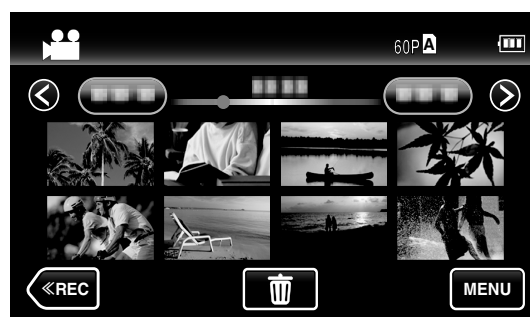
"SDHC/SDXC カードを入れる" (p. 25)

1 "<<PLAY"をタッチして、再生モードにする



- カメラモード時に[CAM/MEDIA]スイッチを回すか、または[CAM/MEDIA]ボタンを押すと、本機がメディアモードとなり、再生できます。

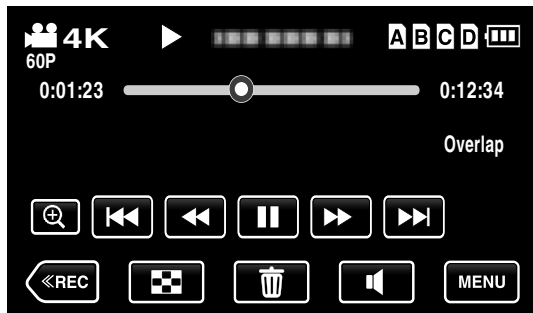
2 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



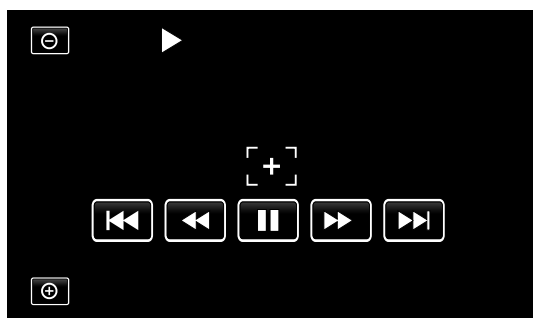
画面を拡大して再生する

詳しく見たいときなどに画面を拡大して再生できます。

1 [⊕] をタッチする

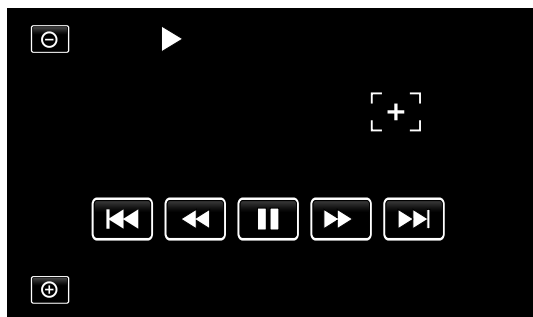


2 拡大したい箇所をタッチする



- タッチした箇所に "+" マークが移動します。

3 [⊕] をタッチする



- "+" マークを中心に表示を拡大します。
- 画面をタッチすると、表示位置を移動できます。
- [⊖] をタッチすると、手順 2 の画面に戻ります。
手順 2 の画面でもう一度 [⊖] をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。

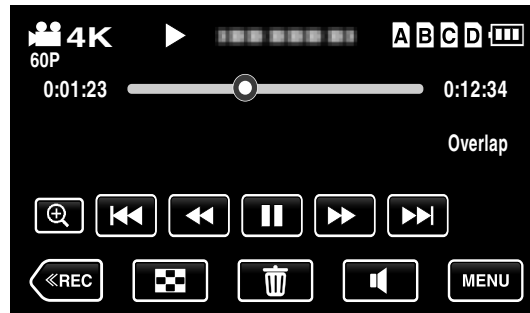
メモ：_____

- 4K2K モードのみ拡大表示できます。
- 4K2K 出力に対応したモニターでは、拡大表示はできません。

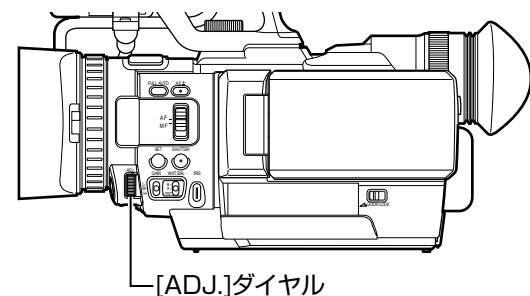
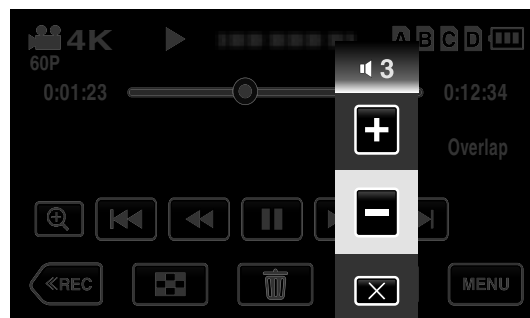
動画の音量を調節する

再生する動画の音量を調節できます。

1 [🔊] をタッチする



2 音量を調節する



- 音量を上げる：[ADJ.]ダイヤルを "+" 方向に回す、または "+" をタッチする
- 音量を下げる：[ADJ.]ダイヤルを "-" 方向に回す、または "-" をタッチする
- [X] をタッチすると、音量調節を終了します。

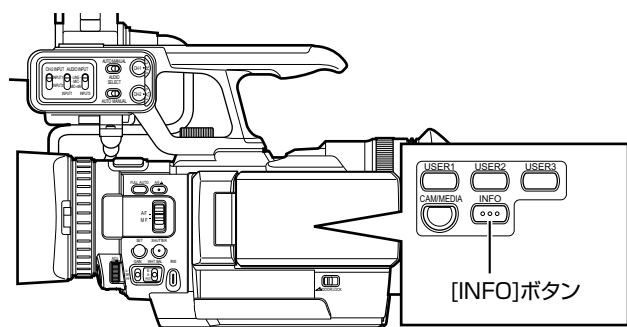
メモ：_____

- 内蔵スピーカーはメディアモード時のみ使用できます。カメラモード時、内蔵スピーカーから音声はできません。
- メディアモード時、ヘッドホン音量とスピーカー音量は同時に調整されます。
- 内蔵スピーカーはヘッドホン端子が接続されている場合は使用できません。

撮影日などの情報を見る

撮影した映像の撮影情報を見ることができます。

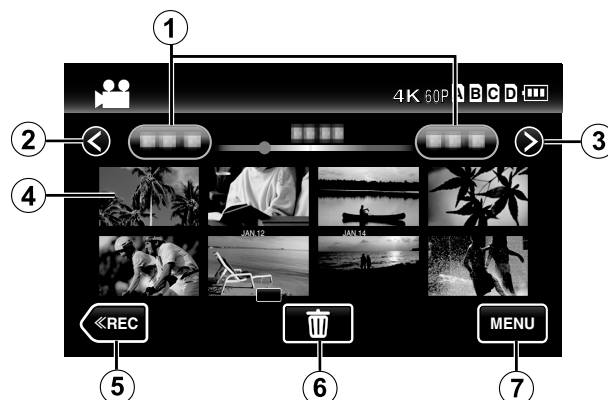
- ① 映像の再生一時停止中に、INFO ボタンを押す



- 選んだ映像の撮影日や再生時間が表示されます。

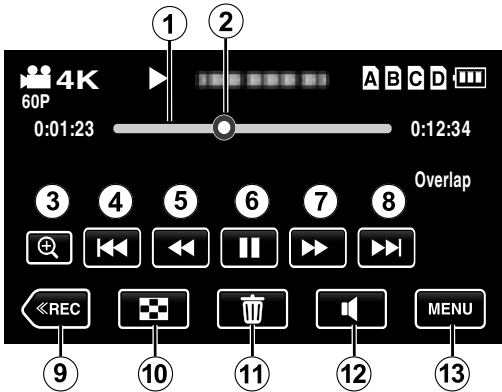


インデックス一覧の画面表示



画面表示	説明
① 日付	前/次の撮影日に移動します。
② <	前の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
③ >	次の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
④ ファイル (映像)	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。
⑤ <<REC	撮影モードに切り換えます。
⑥ 𐊮	削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑦ MENU	メニュー画面を表示します。

動画再生中の画面表示



	画面表示	説明
①	時系列バー	お好みの位置をタッチすると、再生箇所を変更できます。
②	再生位置表示	映像のおおよその再生位置を表示します。
③		拡大表示します。
④		シーンの先頭に戻ります。
⑤		早戻しします。
⑥		一時停止中にコマ戻し／押し続けると逆スロー再生します。(1920 モードのみ)
⑦		再生／一時停止します。
⑧		早送りします。
⑨		次のシーンに進みます。
⑩		撮影モードに切り換えます。
⑪		停止(一覧表示に戻ります)
⑫		現在表示しているシーンを削除します。
⑬		音量を調節します。
⑭	MENU	メニュー画面を表示します。

メモ：――

- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
- 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

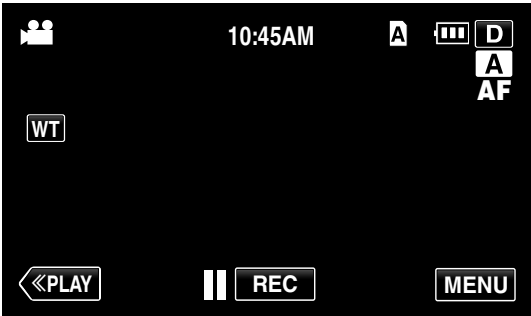
ご注意：――

- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

管理情報が壊れた動画を再生する

撮影中に電源をはずしたりするなど、記録が正常に終了しなかった場合、管理情報が壊れた動画ができることがあります。このような場合、以下の操作で管理情報が壊れた動画を再生することができます。

1 "＜＜PLAY"をタッチして、再生モードにする



2 "MENU"をタッチする



3 "特殊ファイル再生"をタッチする



4 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



メモ:

- 管理情報が壊れたとき、EXTMOV フォルダに MTS ファイルが作成されます。
- 壊れたファイルの状況によって、再生できないことやスムーズに再生しないことがあります。
- 4K2K モードで撮影したファイルは、表示されません。

モニターで映像を見る

本機を HDMI 端子付きモニターとつないで見ることができます。

- HDMI ミニケーブルは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。
- お使いのモニターの取扱説明書もご覧ください。

ご注意:

- ファイルにアクセスしているときは、SD カードを出したり、電源を消したりしないでください。動作中にバッテリーの残量がなくなったら、データが破損する原因になりますので、必ず付属の AC アダプターを使用してください。SD カードのデータが壊れた場合、SD カードをフォーマットしてください。

"SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する" (p. 26)

メモ:

- 必要に応じて、共通メニューの "HDMI 出力" の設定を変更してください。

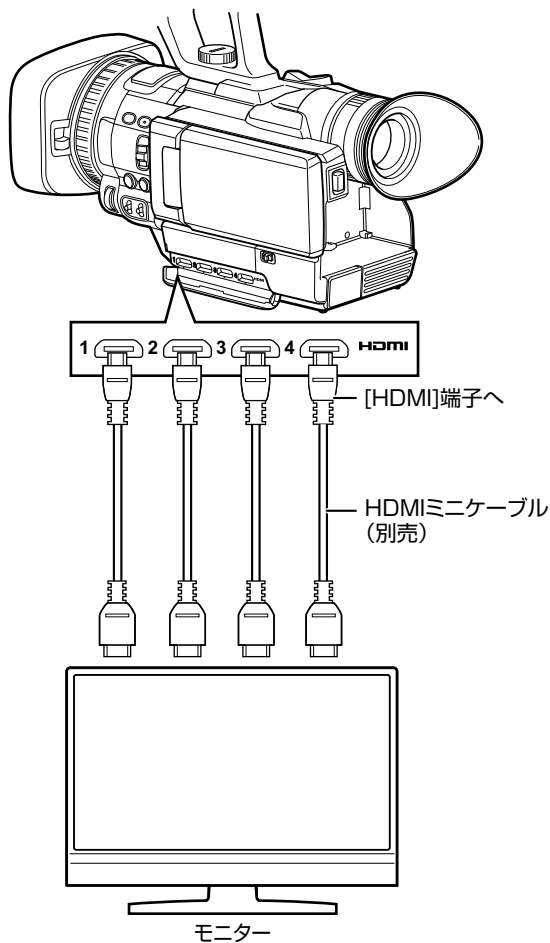
"HDMI 出力" (p. 60)

- お使いのモニターによっては、HDMI ケーブルで接続したときに、映像や音声は正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
 - HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
 - 本機の電源を入れ直してください。
- モニターに関する質問や接続方法については、モニターの製造元にお問い合わせください。

4K2K モードで撮影した映像を再生する

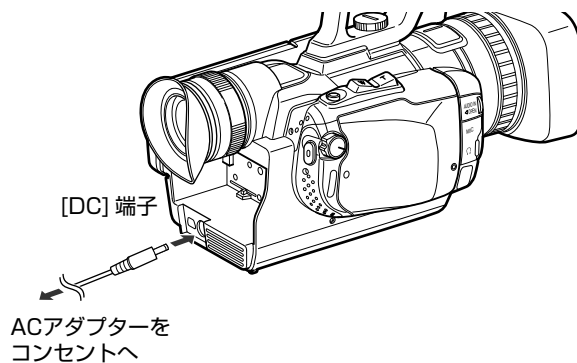
1 モニターに接続する

- [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にしてください。



- 4K2K 出力に対応したモニターに 4 か所の[HDMI]端子すべてを接続してください。
4 か所すべての[HDMI]端子が接続されていない場合、4K2K 出力されません。
- [HDMI 1]端子のみ接続している場合は、1920 モードで出力されます。

2 [DC]端子に AC アダプターをつなぐ



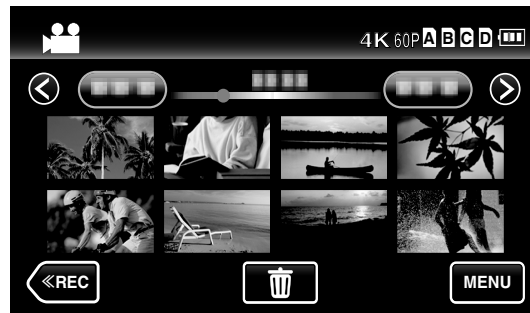
3 電源を入れて再生モードにする

- "電源を入れる" (p. 21)
- "再生モードにする" (p. 43)

4 モニターの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



- 4K2K モードのインデックス画面を 4K2K 出力に対応したモニターに表示したときは左上 1/4 のみに表示されます。
"動画を再生する" (p. 43)

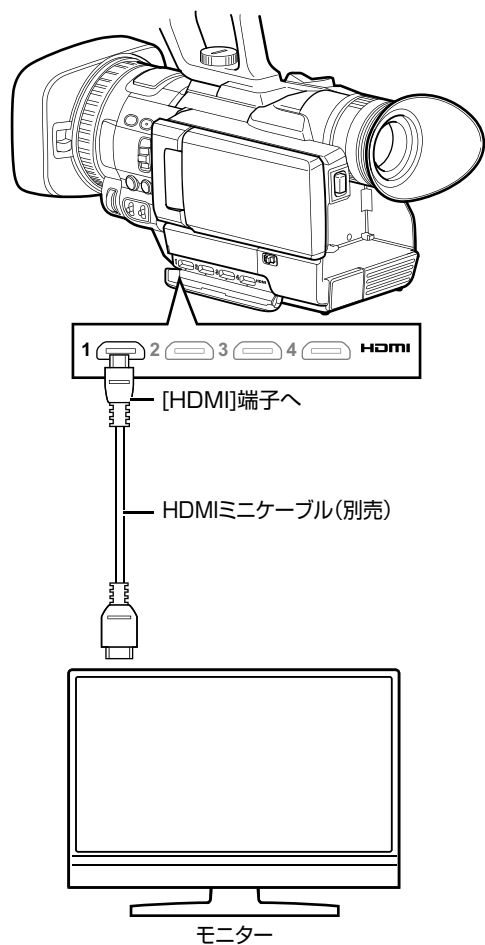
メモ：

- 4K2K モードの再生画面を 4K2K 出力に対応したモニターに表示したとき、ボタンなどの表示は左上 1/4 のみに表示されます。

1920 モードで撮影した映像を再生する

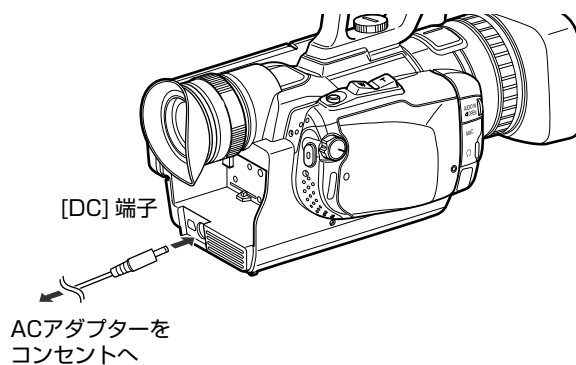
1 モニターに接続する

- [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にしてください。



- [HDMI 1]端子とモニターを接続してください。
[HDMI 1]端子以外と接続した場合、映像は出力されません。

2 [DC]端子に AC アダプターをつなぐ



3 電源を入れて再生モードにする

- "電源を入れる" (☞ p. 21)
- "再生モードにする" (☞ p. 43)

4 モニターの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (☞ p. 43)

不要な映像を削除する

SD カードの容量が少なくなってきたら、不要な映像を削除しましょう。

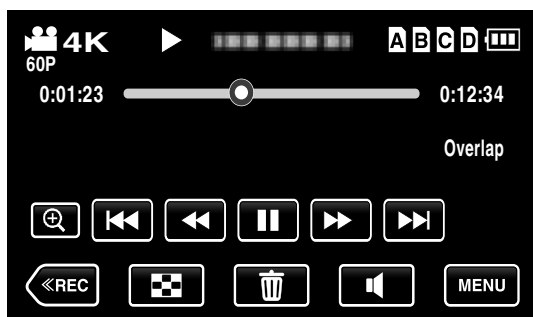
メモ：

- 一度削除した映像は、元に戻せません。
- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。
- 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。

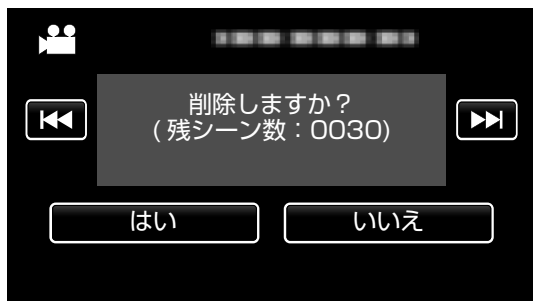
表示(再生)しているファイルを削除する

表示(再生)しているファイルを削除します。

1 𠂇をタッチする



2 "はい"をタッチする

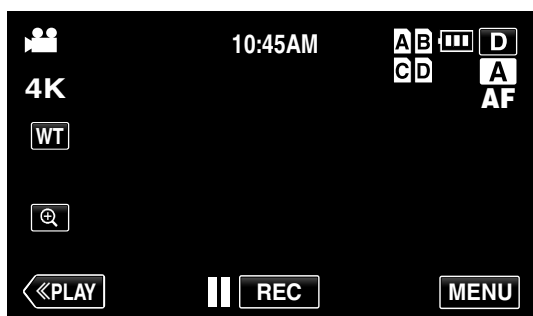


- ◀▶▶▶をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 全てのファイルが削除されると、一覧表示の画面に戻ります。

選んで削除する

削除する映像を選んで、まとめて削除します。

1 "<<PLAY"をタッチして、再生モードにする



2 𠂇をタッチする



3 削除したいファイル(映像)をタッチする

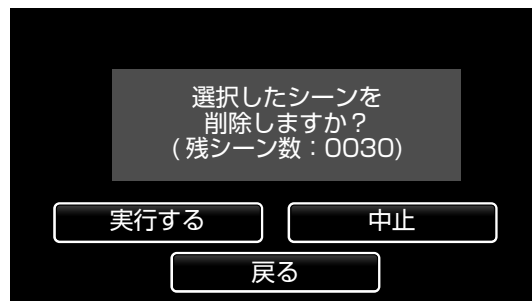


- タッチしたファイルに✓が表示されます。✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

4 "決定"をタッチする



5 "実行する"をタッチして、削除する



- 削除が終了したら、"OK"をタッチしてください。
- 削除を取り消したい場合は、"中止"をタッチしてください。

映像を保護する

映像を誤って削除してしまうことのないように、大事な映像は保護しておきましょう。

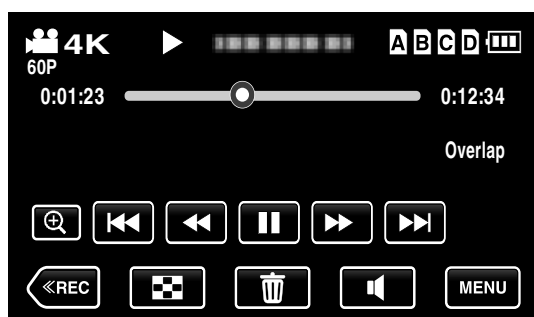
ご注意：

- SD カードをフォーマットをした場合は、保護している映像も削除されてしまいますのでご注意ください。

表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する

表示(再生)しているファイルを保護、または保護されているファイルを解除します。

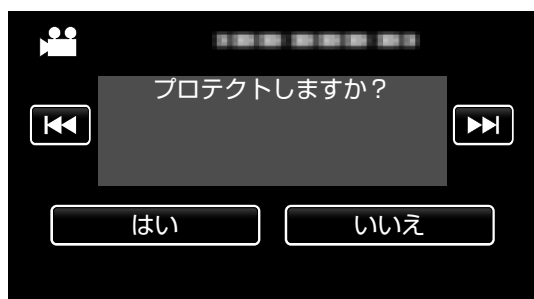
1 "MENU"をタッチする



2 "プロテクト／解除"をタッチする



3 "はい"をタッチする

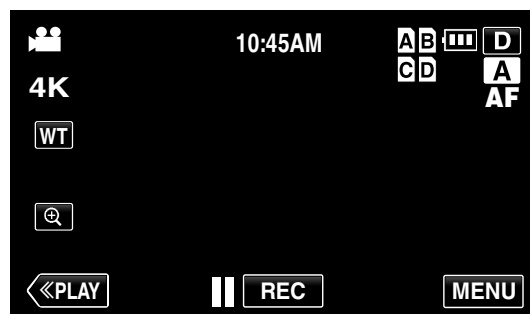


- ◀◀/▶▶をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 保護が終了したら、"OK"をタッチしてください。

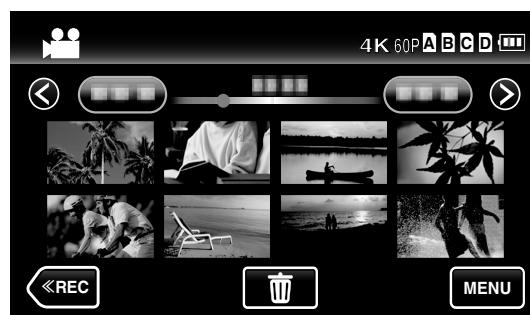
選んで保護する/選んで保護を解除する

映像を選んでまとめて保護、または解除します。

1 "<<PLAY"をタッチして、再生モードにする



2 "MENU"をタッチする



3 "プロテクト／解除"をタッチする



4 保護したい、または保護を解除したいファイル(映像)をタッチする



- タッチしたファイルに✓が表示されます。✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- 既に保護されているファイルは✓が表示されます。保護を解除するには、解除したいファイルをタッチし、✓を消してください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

5 "決定"をタッチして、終了する

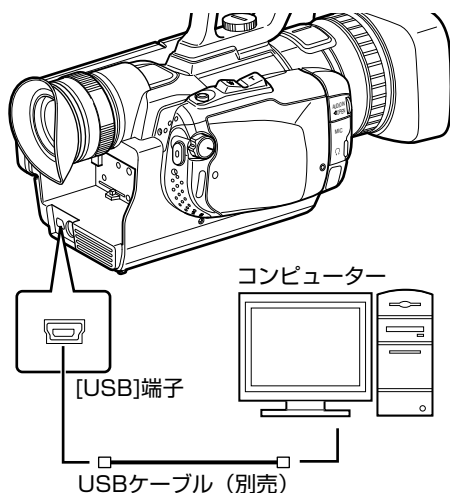


- 選択したファイルに、保護を意味する **On** が表示されます。保護を解除したファイルからは、**On** の表示が消えます。

コンピューターに保存する

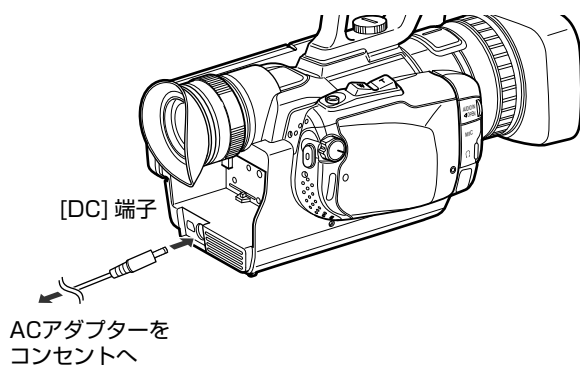
本機とコンピューターを USB ケーブルで接続することで、SD カードのファイルを読み出したり、コピーすることができます。

1 コンピューターに接続する



- [STANDBY/ON OFF]スイッチを[OFF]にしてください。

2 [DC]端子に AC アダプターをつなぐ



- 電源を入れてください。(p. 21)
- 以降の手順は、コンピューターで操作してください。

- ### 3 Windows の場合
- "スタート"メニューから "コンピュ
ータ"(Windows 7/Windows Vista)/ "マイコン
ピュータ"(Windows XP)を選んで、
[JVCCAM_SDA]/[JVCCAM_SDB]/
[JVCCAM_SDC]/[JVCCAM_SDD](4K2K モー
ド)、または[JVCCAM_SD](1920 モード)アイ
コンをクリックする

Mac の場合

"名称未設定" アイコンをダブルクリックし、
[JVCCAM_SDA]/[JVCCAM_SDB]/
[JVCCAM_SDC]/[JVCCAM_SDD](4K2K モー
ド)、または[JVCCAM_SD](1920 モード)アイ
コンをクリックする

- 保存したいファイルがあるフォルダを開きます。
"ファイルとフォルダの一覧について" (p. 54)

- ### 4 コンピューターの任意のフォルダにファイルを コピーする(デスクトップなど)

ご注意:

- フォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをコンピューターで行うと、本機で再生できなくなります。

メモ:

- SD カードへの書き込みはできません。
- ファイルを編集・鑑賞するには、AVCHD(動画)/MP4(動画)に
対応したソフトウェアを使用してください。
- 上記のコンピューターでの操作は、システムによって異なるこ
とがあります。

本機をコンピューターから取りはずすには

■ Windows の場合

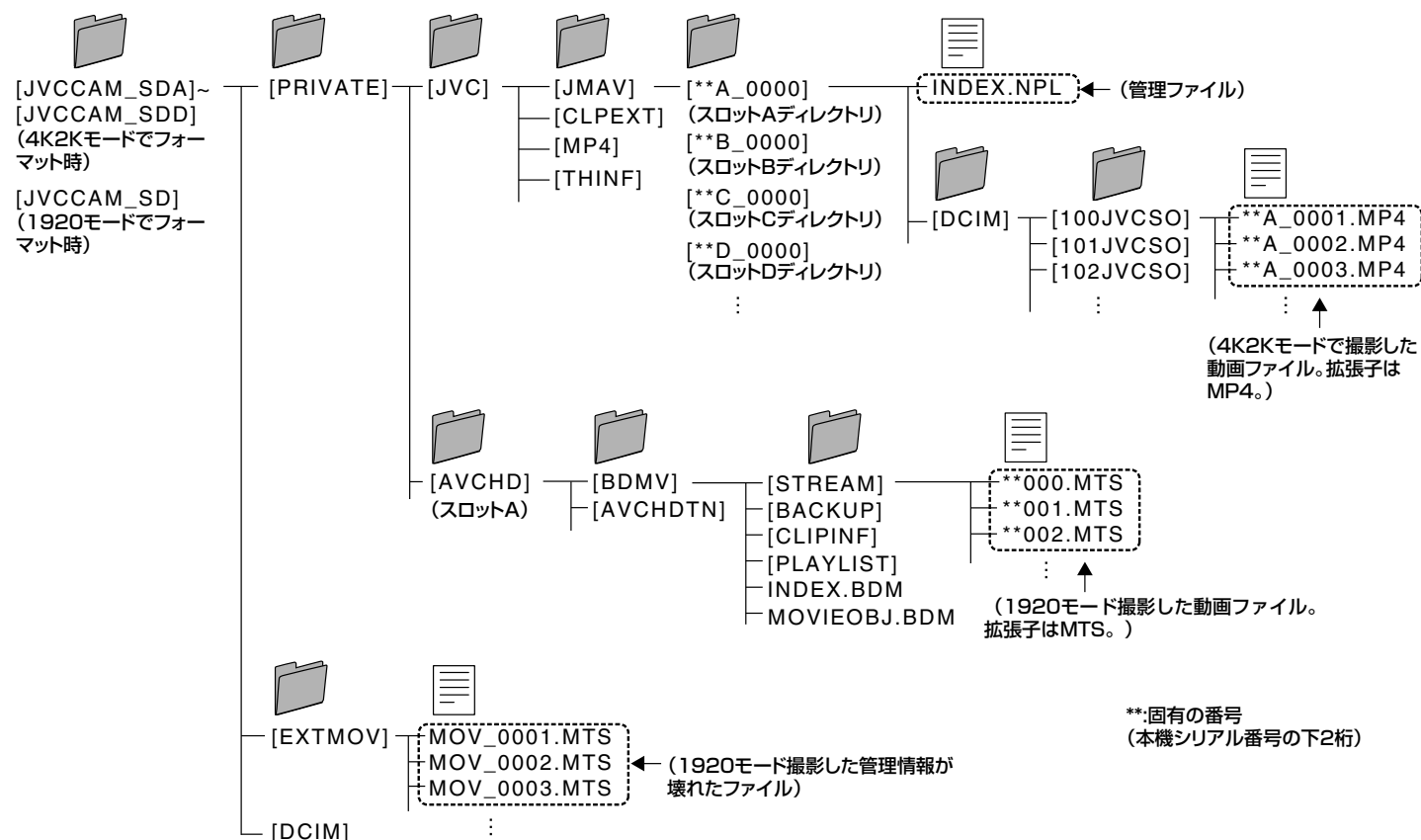
- 1 "ハードウェアの安全な取り外し"をクリック
する
- 2 "USB 大容量記憶装置~"をクリックする
- 3 (Windows Vista の場合) "OK"をクリックする
- 4 USB ケーブルをコンピューターから取りはず
し、本機の画面を閉じる

■ Mac の場合

- 1 "名称未設定" アイコンをゴミ箱に捨てる

ファイルとフォルダの一覧について

SD カードには、フォルダとファイルが次のように作成されています。
フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。



ご注意:

- フォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをコンピュータで行うと、本機で再生できなくなります。

メニュー操作のしかた

本機には 2 種類のメニューがあります。

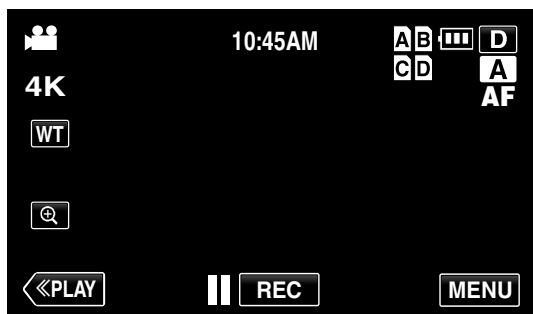
- メインメニュー:
動画の撮影、再生に関する項目を表示します。
- メインメニュー内の "⚙️" (共通) メニュー:
動画の撮影、再生に関するモード設定項目のうち共通する項目を表示します。

メインメニューの操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

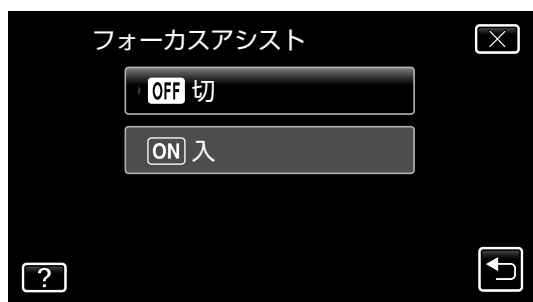


2 設定したいメニューをタッチする



- 上または下をタッチすると、画面をスクロールできます。

3 設定したい設定項目をタッチする



メモ: _____

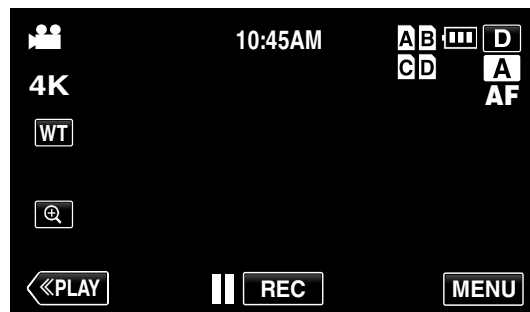
- 設定を終了するとき: "✕" (終了) をタッチする
- 一つ前の画面に戻るとき: "⬅️" (戻る) をタッチする
- ヘルプを表示するとき: "?" (ヘルプ) をタッチし、項目をタッチする
- ヘルプの表示がない場合があります。

共通メニューの操作のしかた

選択しているモードにかかわらず、共通項目を変更することができます。

1 "MENU"をタッチする

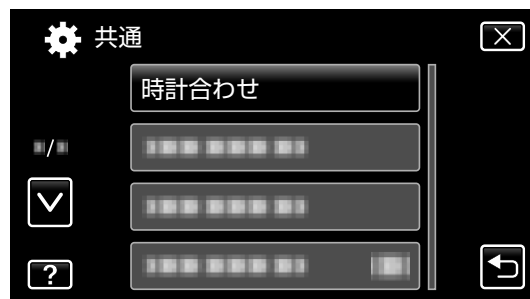
- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。



2 "⚙️" (共通) をタッチする



3 設定したい設定項目をタッチする



- 上または下をタッチすると、画面をスクロールできます。

メモ: _____

- 設定を終了するとき: "✕" (終了) をタッチする
- 一つ前の画面に戻るとき: "⬅️" (戻る) をタッチする
- ヘルプを表示するとき: "?" (ヘルプ) をタッチし、項目をタッチする
- ヘルプの表示がない場合があります。

撮影メニュー

撮影に関する設定を変更できます。

設定	内容
フォーカスアシスト	"入"にすると、ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。 メモ：—— フォーカスアシスト設定時は、画面が白黒になり、ピントが合っている部分の輪郭に選んだ色が付きま す。輪郭線が見にくくなったときは色を変えてください。
アシストカラー	"フォーカスアシスト"の輪郭線の色を設定します。 "マルチカラー"、"赤"、"緑"、"青"の中から選べます。
ゼブラ	指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様(ゼブラパターン)を表示します。明るい所(白とび)を確認し、明 るさの調整に利用します。 切: ゼブラ機能を使いません。 70-80%: 白とびに近い(明るい)場所を、しま模様で表示します。 OVER 100%: 白とびした(明るすぎる)場所を、しま模様で表示します。
ガンマ	階調表現を決定するガンマカーブの補正をします。 切: 補正しません。 スタンダード: 標準のガンマカーブになります。 シネマ: 映画の画面特性に近い階調のガンマカーブになります。
ガンマレベル	ガンマレベルを調整します。 "ガンマ"を "スタンダード"または "シネマ"に設定したとき、それぞれに設定できます。 ▲ または ▼ をタッチする、または[ADJ.]ダイヤルを回して、設定します (MIN(-5) ~ NORMAL(0) ~ MAX(+5))。 数字を大きく: 黒の階調を良くします。ただし、明るい部分の階調は悪くなります。 数字を小さく: 明るい部分の階調を良くします。ただし、黒の階調は悪くなります。
カラーマトリックス	カラーマトリックス設定をします。 切: カラーマトリックス機能を Off にします。 スタンダード: 標準のカラーマトリックスにします。 CINEMA VIVID COLOR: 映画の画面特性に近いあざやかなカラーマトリックスになります。 CINEMA SUBDUED COLOR: 映画の画面特性に近い落ち着いたカラーマトリックスになります。
逆光補正	"入"にすると、逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
基本色温度設定	マニュアル撮影時、[WHT.BAL.]スイッチが[PRST(PRESET)]に設定されたときの基本色温度を設定しま す。 3200K: 基本色温度を3200Kにします。(ハロゲンランプなど低い色温度で使用します) 5200K: 基本色温度を5200Kにします。(太陽光などの高い色温度で使用します) メモ：—— - オート撮影時は、この機能は使えません。 "FAW"が "P R E S E T"に設定されているときは、この機能は使えません。

設定	内容
F A W	マニュアル撮影時、F A W(フルオートホワイトバランス)の機能を[WHT.BAL.]スイッチのどのポジションに割り付けるかを設定します。 設定しない: F A W機能を割り付けません。 A : A ポジションに F A Wを割り付けます。 B : B ポジションに F A Wを割り付けます。 P R E S E T : P R E S E T ポジションに F A Wを割り付けます。 メモ: _____ オート撮影時は、F A Wに固定されます。
G A I N L G A I N M G A I N H	マニュアル撮影時、[GAIN]スイッチの各ポジションにゲインの値を設定します。 0 d B / 3 d B / 6 d B / 9 d B / 1 2 d B / 1 5 d B / 1 8 d B : 設定した値に固定します。 A G C : ゲインを自動で設定します。 スローシャッター: スローシャッターを併用して、ゲインを自動で設定します。 メモ: _____ オート撮影時は、A G C またはスローシャッターになります。
タッチ優先 A E / A F	"入"にすると、タッチしたエリア(固定位置)にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチしたエリアには白枠がつきます。 - 再設定したい場合は、設定したい場所(顔・色・エリア)を再度タッチしてください。 "タッチエリア"を解除したい場合は、白枠をタッチしてください。 メモ: _____ - ズーム操作をすると、設定が解除されます。 - 液晶モニターの端にいる被写体をタッチした場合、正しく反応(認識)しないことがあります。このようなときは、被写体を中央寄りにしてから、タッチしてください。
テレマクロ	マニュアル撮影時、ズームの望遠(T)側で接近して接写できます。 切: 通常の設定です。約 1 m まで接写できます。 入: テレマクロの設定です。約 60 cm まで接写できます。 メモ: _____ - オート撮影時は、設定メニューから設定できません。 - 接写しないときは、"切"にしてください。"入"のまま撮影すると、画像がぼけることがあります。
手ぶれ補正	"入"にすると、手ぶれを効果的に補正して撮影できます。
システムセレクト	記録する解像度とフレームレートを設定します。 4K2K 撮影(4K2K モード) 3840X2160/60p: 解像度 3840X2160、フレームレート 60p 3840X2160/24p: 解像度 3840X2160、フレームレート 24p 3840X2160/50p: 解像度 3840X2160、フレームレート 50p HD 撮影(1920 モード) 1920X1080/60i: 解像度 1920X1080、フレームレート 60i 1920X1080/60p: 解像度 1920X1080、フレームレート 60p 1920X1080/50i: 解像度 1920X1080、フレームレート 50i 1920X1080/50p: 解像度 1920X1080、フレームレート 50p この項目の設定を変更すると、カメラが再起動します。

設定メニュー

設定	内容
記録モード	"システムセレクト"が 1920 モード時の画質を設定します。 U X P : 最高画質で撮影できます。 - ブルーレイディスク向けです。ハイビジョン画質では、DVD に保存できません。 X P : 高画質で撮影できます。 S P : 標準画質で撮影できます。 E P : 長時間撮影ができます。 メモ : _____ "システムセレクト"が 4K2K モード時は、設定できません。 - フレームレートが 60p、50p 時は、設定できません。
エッジブレンド	"システムセレクト"が 4K2K モード時、4 つの映像の境目を重ねて撮影します。 0ピクセル: 境目を重ねて撮影しません。 16ピクセル: 境目を重ねて撮影します。(上下左右に黒帯がつきます。)
ズーム倍率	ズームの最大倍率を設定します。 10 倍光学: 1~10 倍の光学ズームで撮影できます。ダイナミックズームを使いたくないときに設定してください。 20 倍ダイナミック: 1~10 倍の光学ズーム、および 11~20 倍のダイナミックズームで撮影できます。 メモ : _____ "システムセレクト"が 4K2K モード時は、設定できません。
ウィンドカット	"入"にすると、風の音を低減します。 メモ : _____ [INPUT1]端子(マイク)、[INPUT2]端子(マイク)、[MIC]端子(マイク/内蔵マイク)のそれぞれで設定できます。
グリッド	"入"にすると、被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。
タイムラプス撮影	一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間をかけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。 切: タイムラプス撮影をしません。 1 秒間隔: 1 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。撮影した動画は 30 倍速(60i で記録した場合)で再生されます。 5 秒間隔: 5 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。撮影した動画は 150 倍速(60i で記録した場合)で再生されます。 40 秒間隔: 40 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。撮影した動画は 1200 倍速(60i で記録した場合)で再生されます。 メモ : _____ - タイムラプス撮影で撮影した動画には、音声記録されません。 - タイムラプス撮影中は、ズーム操作、手ぶれ補正が使えません。 - 実記録時間の表示が "0:00:00:17"以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。 - 電源を切るとタイムラプス撮影の設定がリセットされます。再度タイムラプス撮影をするときは、再設定が必要になります。 - 撮影開始から 99 時間を経過すると、自動的に撮影を停止します。 - 撮影間隔の長いタイムラプス撮影では、三脚および AC アダプターをご使用ください。また、フォーカスやホワイトバランスをマニュアルで固定して使うことをおすすめします。
オーディオ基準レベル	録音基準レベルを設定します。 -20 dB: メーターが -20 dBFS 振れたとき基準レベルの信号を出力します。 -12 dB: メーターが -12 dBFS 振れたとき基準レベルの信号を出力します。
内蔵マイクレベル設定	内蔵マイクの入力レベルを設定します (-2(感度低) ~ 0(標準) ~ +2(感度高))。

設定	内容
オーディオモニター	ヘッドホン音声を設定します。 M I X : ミックス音声を出力します。 S T E R E O : ステレオ音声を出力します。
マイクレベル表示	"入"にすると、マイクレベルを画面に表示します。
USER 1 設定 USER 2 設定 USER 3 設定	[USER1]、[USER2]、[USER3]ボタンに下記の機能をそれぞれ 1 つ割り付けることができます。 • "フォーカスアシスト"、"テレマクロ"、"ゼブラ"、"設定しない"から選べます。 初期設定では、以下の機能が設定されています。 USER 1 設定: フォーカスアシスト USER 2 設定: テレマクロ USER 3 設定: ゼブラ

再生メニュー

再生に関する設定を変更できます。

設定	内容
プロテクト／解除	誤消去防止のプロテクトを付けます。 メモ: _____ • 記録メディアをフォーマットをした場合は、保護している映像も削除されてしまいますのでご注意ください。
特殊ファイル再生	HD モードで撮影した管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。 メモ: _____ • 4K2K モードで撮影したファイルは、表示されません。 • 壊れたファイルの状況によって、再生できない場合やスムーズに再生しない場合があります。
K 2 テクノロジー	"入"にすると、撮影時に記録できない小さな音や高い音を再生成し、本来の音に近い音質で再生します。

共通メニュー

設定	内容
時計合わせ	現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。
日付表示配列	年月日の並び順と時間表示フォーマット(24h/12h)を設定することができます。 メモ: _____ • "配列"の下枠をタッチして、$\wedge$ または $\vee$ をタッチすると、年月日の並び順が設定できます。 • 時間の下枠をタッチして、$\wedge$ または $\vee$ をタッチすると、時間表示が設定できます。 • 並び順は、"年. 月. 日"、"月. 日. 年"、"日. 月. 年"のどれかに設定します。 • 時間表示は、"12h"、"24h"のどちらかに設定します。
LANG. / 言語	メニューなどで画面に表示する言語を設定します。 "表示言語を変更する" (p. 24)

設定メニュー

設定	内容
モニター明るさ	画面の明るさを調整します。 オート:屋外では "4"に、屋内では "3"に、自動的に切り換わります。 4:画面を常に明るくしたいときに設定します。 3:標準の明るさ設定です。 2:画面を常に暗くしたいときに設定します。 1:一番暗い設定です。バッテリーの消費を抑えたいときに設定します。
操作音	"入"にすると、操作時に音を鳴らします。
オートパワーオフ	"入"にすると、電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。
タリー	"入"にすると、タリーランプを点灯させます。
優先設定	液晶画面とビューファインダーが両方 ON のとき、液晶画面とビューファインダーのどちらに画面を表示するか設定します。 液晶モニター:液晶モニターを優先します。 ファインダー:ビューファインダーを優先します。
タッチパネル調整	タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置がずれている場合に調整します。 "タッチパネルのボタン位置を調整する" (p. 23)
テレビ表示	"入"にすると、モニターに、アイコンや日時を表示できます。 メモ: _____ "HDMI 出力"を "480p/576p"に設定しているとき、または 480p/576p 出力のみに対応したモニターに接続しているときは、"テレビ表示"の設定に関係なくモニターの表示は液晶モニターと同じになります。
HDMI 出力	モニターの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。 オート:接続するモニターに応じて自動で解像度を設定します。通常この設定にします。 480p/576p: "オート"で正常に表示されないとき設定します。
HDMI エンハンス設定	モニターの DVI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。 切:一般的なテレビに接続するときに設定します。色階調の範囲が 16~235 です。 入:PC モニターなどに接続するときに設定します。色階調の範囲が 0~255 です。
工場出荷	すべての設定をお買い上げ時に戻します。 工場出荷をすると、本機は再起動をします。
ファームウェア更新	本機の機能を最新版に更新できます。 詳しくは、JVC ケンウッドのホームページをご覧ください。 (本体ソフトウェアをアップデートするためのプログラムが提供されるまで、ホームページに説明はありません) http://www.jvckenwood.co.jp/
SDフォーマット	SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。 ファイル:SD カードのすべてのファイルを消去します。 ファイル+管理番号:SD カードのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。 メモ: _____ - SD カードが入っていないときは選べません。 - フォーマットすると、SD カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、SD カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。 - フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

エラー表示と対応

エラー表示	処置
フォーマットエラー	• 操作手順を確認し、もう一度繰り返してください。 "SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する" (p. 26) • 本機の電源を入れ直してください。
カードエラー	• カードが対応しているか確認してください。 "SDHC/SDXC カードについて" (p. 7) • 本機の電源を入れ直してください。 • SD カードを入れ直してください。 • SD カードの端子の汚れを取り除いてください。 • 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、撮影メニューの"SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。) • "SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する" (p. 26)
フォーマットされていません	• "はい"を選び、"フォーマットしますか?"の画面で"はい"を選んでください。
カードへ記録できませんでした	• 本機の電源を入れ直してください。
未対応のシーンです	• 本機で記録したファイルをお使いください。 (他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)
未対応のファイルです	• 本機で記録したファイルをお使いください。 (他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)
プロテクトがかかっています	• 共通メニューの"プロテクト／解除"で解除してください。 "映像を保護する" (p. 51)
カードがライトプロテクトされています	• SD カードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチを解除してください。
空き容量がありません	• ファイルを削除するか、パソコンなどに移してください。 • 新しいSD カードに交換してください。
シーン数が制限を超えています	• コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。 (バックアップします。) • 共通メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。 (SD カード内のデータは、すべて消えます。)
フォルダ数が制限を超えています	• コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。 (バックアップします。) • 共通メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。 (SD カード内のデータは、すべて消えます。)
ファイル数が制限を超えています	• コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。 (バックアップします。) • 共通メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。 (SD カード内のデータは、すべて消えます。)
このカードは、本機で記録、編集できません	本機のフレームレートとカードに記録されているフレームレートが異なります。 撮影メニューの"システムセレクト"でフレームレートを変更してください。
このカードは、本機で記録できません	4K2K モードで、各カード内の MP4 ファイル数が異なります。 パソコンを使って、4 つのカードのファイル数を一致させてください。

エラー表示	処置
ファイルの修復に失敗しましたこのカードの組み合わせではこれ以上撮影できません	- パソコンで最大番号のフォルダの中の最大ファイル番号のファイルを削除して4つのカードのファイル数を一致させてください。 - またはファイルをすべてパソコンにコピーしてSDカードをフォーマットしてください。

メモ：

- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってからACアダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

こんなときは

修理を依頼される前に、もう一度以下の表にしたがってご確認ください。
それでも不具合があるときは、お近くのご相談窓口にお問い合わせください。

症状	処置
SDHC/SDXC カードが入らない。	SDHC/SDXC カードの向きを確認してください。
電源が入らない。	- AC アダプターが正しく接続されていますか？ - バッテリーは充電されていますか？ - 電源を切ったあと、すぐに電源を入れましたか？電源の再立ち上げは5秒以上時間をあけてから行なってください。
記録ができない。	- SDHC/SDXC カードは正しくセットされていますか？ 4K2K 撮影(4K2K モード)の場合： 4枚のSDHC/SDXC カードの組み合わせ、順番は正しいですか？ フォーマットを行ったときの組み合わせ、順番どおりにスロットに挿入してください。 - HD 撮影(1920 モード)の場合： スロット A に SDHC/SDXC カードが挿入されていますか？ "SDHC/SDXC カードを入れる" (p. 25) - SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチがセットされていませんか？ セットされている場合は、解除してください。 "SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチについて" (p. 25) - カメラモードになっていますか？ [CAM]表示灯が赤色に点灯していない場合は、カメラ画を出力しません。[CAM/MEDIA]スイッチを[CAM]側に押し、カメラモードに切り換えてください。 "[CAM]カメラモード表示灯" (p. 13)
液晶モニター画面やビューファインダー画面にカメラ画が出力されない。	- カメラモードになっていますか？ [CAM]表示灯が赤色に点灯していない場合は、カメラ画を出力しません。[CAM/MEDIA]スイッチを[CAM]側に押し、カメラモードに切り換えてください。 "[CAM]カメラモード表示灯" (p. 13) - 共通メニューの"優先設定"が"ファインダー"に設定されており、ビューファインダーを引き出さないでビューファインダーを使用していませんか？ 本設定時でビューファインダーを使用するときは引き出して使用してください。 "ビューファインダー/液晶モニターで見る" (p. 27)

症状	処置
勝手に撮影が停止した。	- SDHC/SDXC カード要因で記録が途中で停止することがあります。 ➔ 推奨の Class6 以上のカードかどうかを確認する。 "SDHC/SDXC カードについて" (p. 7) ➔ SDHC/SDXC カードの中身を消す(削除、フォーマット)。 "SDHC/SDXC カードをフォーマット(初期化)する" (p. 26)
液晶モニター画面やビューファインダー画面の画像が暗い、ぼやけている。	- 液晶モニター画面の明るさを調整しなおしてください。 "モニター明るさ" (p. 60) - 絞り値が大きすぎる設定になっていませんか？ - シャッタースピードが速すぎる設定になっていませんか？
被写体が暗い。	- 明るさ補正を "+" 側に設定してください。 "明るさを手動補正する" (p. 34) - マニュアル撮影モードにして[GAIN]スイッチで感度を上げてください。 "マニュアル撮影モードにする" (p. 28) - 撮影メニューの "G A I N L"、"G A I N M"、"G A I N H"を "A G C"または "スローシャッター"に設定してください。 (p. 57) - シャッタースピードを遅く設定してください。 "シャッタースピードを調整する" (p. 35) - 絞りを開放側に設定してください。 "絞りを調整する" (p. 36)
被写体の色が不自然。(赤っぽい、青っぽいなど)	照明や背後にいろいろな光源があるときは、マニュアル撮影モードにしてオートホワイトバランス調整を行なってください。 "ホワイトバランスを調整する" (p. 37)
自動でピントがあわない。	- レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭いてください。 - 暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスを使用してください。
ホワイトバランスを設定できない。	フルオート撮影モードになっていませんか？
画面が暗い、または白くなる。	- 画面の角度や明るさを調整してください。 "ビューファインダー/液晶モニターで見る" (p. 27) - 寒いところでは多少暗くなります。 - 寿命が短くなっている可能性があります。お近くのご相談窓口へお問い合わせください。
画面が見えにくい。	直射日光下など周囲が明るい、見えにくくなります。
バッテリー残量が正しく表示されない。	- バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電してください。 "バッテリーを充電する" (p. 20) - 高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していたりすると、正しく表示できないことがあります。
画面の表示にムラがでる。	画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく待ってください。 (圧迫すると、映像ムラが生じます。)
モニターに映像が表示されない。	4K2K モードで映像を出力するときは、4 つの[HDMI]端子すべてをモニターに接続してください。 [HDMI2] ~ [HDMI4]の端子は、4K2K モードで映像を出力するときのみ使用可能です。 - Full HD(1920)以下で出力するときは [HDMI1]の端子とモニターを接続してください。
サムネイルでファイル(映像)を選んでも、再生されない。	選択したファイル(映像)は、再生可能なファイル(映像)ですか？ ビデオフォーマット設定が異なっていると再生できません。
実際の記録時間がめやすとされている時間より短い。	動きの速い被写体を撮影したときなど、環境によっては記録時間が短くなります。

症状	処置
[CH-1/CH-2]録音レベル調整ボリュームが効かない。	• [CH1/CH2 AUDIO SELECT]スイッチが[AUTO]になっていませんか？
SDHC/SDXC カードが初期化(フォーマット)できない。	• SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチがセットされていませんか？ セットされている場合は、解除してください。 "SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチについて" (p. 25)
充電したバッテリーを装着しても、バッテリーアラームが表示される。	• 新しいバッテリーと交換してください。 • 新しいバッテリーのご購入については、お近くのディーラーにお問い合わせください。
内蔵マイクがきかない。	• オーディオユニットのケーブルを本体の[AUDIO IN]端子からはずしてください。 "[INPUT1/INPUT2]端子の外部マイクを使用する" (p. 41)
内蔵マイクで[CH-1/CH-2]録音レベル調整ボリュームがきかない。	• 内蔵マイクにはききません。 [CH-1/CH-2]録音レベル調整ボリュームは、[INPUT1/INPUT2]端子に対して有効です。内蔵マイクの音量は、撮影メニューの "内蔵マイクレベル設定" 項目で設定します。 "内蔵マイクレベル設定" (p. 58)
カメラモードからメディアモードに切り換わらない。	• 記録中はメディアモードへの切り換えができません。メディアモードにするには記録を停止してください。
音や映像が途切れる。	• シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。
撮影したはずのファイル(映像)がサムネイル画面にない。	• ファイル形式や映像フォーマットを確認してください。 "映像の記録方式を選択する" (p. 29)
本機が熱くなる。	• 長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。故障ではありません。
電源の入/切が遅い。	• SDHC/SDXC カードに動画ファイルなどが多数あると、処理に時間がかかります。SDHC/SDXC カード内のファイルをパソコンへコピーし、SDHC/SDXC カードから削除してください。
リモコンがきかない。	• 電池を交換してください。
USB 機器と接続して操作ができない。	• 1920 モードで撮影したファイルがありません。 • 本機は USB ハブ非対応の機器では認識されない場合があります。市販のカードリーダーなどをご使用ください。

■ 次の場合は故障ではありません。

- 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
- 画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
液晶画面には 99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります。

■ 正常に動作しないときは本機をリセットしてください。

1 電源を切る

2 本体からバッテリーや AC アダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる

3 共通メニューの "工場出荷" を実行する (p. 60)

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。

保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙ご相談窓口案内をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知らせください。

品名：
 型名：
 お買い上げ日：
 故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
 ご住所：
 お名前：
 電話番号：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

カメラ本体

項目	内容
電源	AC アダプター使用時:DC 12 V バッテリー SSL-JVC50 使用時:DC 7.4 V
消費電力 ※HDMI ケーブル 未接続時	● 4K2K モード 約 17.5 W(LCD モニター使用時、"モニ ター明るさ"が "3"の場合) 約 16.9 W(ビューファインダー使用時) ● 1920 モード 約 11.5 W(LCD モニター使用時、"モニ ター明るさ"が "3"の場合) 約 10.9 W(ビューファインダー使用時) 定格消費電流:3 A
外形寸法(幅×高 さ×奥行き)	118 mm×121 mm×271 mm(オーディオユ ニット非装着時)、 139 mm×198 mm×271 mm(オーディオユ ニット装着時)
質量	約 1120 g(オーディオユニット非装着時、本 体のみ)、 約 1620 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃～40℃ 許容保存温度:-20℃～50℃ 許容相対湿度:35%～80%
映像素子	1/2.3 型 1276 万画素(CMOS)
撮像エリア	● 4K2K モード 829 万画素 ● 1920 モード 829 万画素
レンズ	● 4K2K モード F2.8～F4.5、f=6.7 mm～67 mm 35 mm カメラ換算:42.4 mm～424 mm ● 1920 モード F2.8～F4.5、f=6.7 mm～67 mm 35 mm カメラ換算:42.4 mm～424 mm (ダイナミックズーム:切) 35 mm カメラ換算:42.4 mm～848 mm (ダイナミックズーム:入)
ズーム	光学ズーム:～10 倍 ダイナミックズーム:～20 倍

項目	内容
液晶画面	3.5 型、92 万画素、ポリシリコンカラー液晶
ビューファイン ダー	0.24 型、26 万画素
記録メディア	市販の SDHC/SDXC カード(Class6 以上) "SDHC/SDXC カードの記録可能時間のめや ず" (p. 26)
時計用電池	二次電池

端子

項目	内容
HDMI 出力端子	HDMI ミニ端子×4
USB 端子	ミニ USB B タイプ、USB 2.0 対応 (USB ハブ内蔵)
ヘッドホン出力端 子	ø 3.5 mm ミニジャック(ステレオ)
リモート端子	ø 3.5 mm ミニジャック(4 極)
音声[INPUT1/ INPUT2]端子	MIC:-60 dBu、3 kΩ、XLR(平衡)、+48 V 出力 (ファンタム電源供給) LINE:+4 dBu、10 kΩ、XLR(平衡)

動画(4K2K モード)

項目	内容
録画/再生方式	MP4 規格準拠 映像:MPEG-4 AVC/H.264 音声:AAC 2ch
拡張子	.MP4
信号方式	デジタルハイビジョン方式 2160/60p、2160/50p、2160/24p
画質	3840 ピクセル×2160 ピクセル 最大 約 144(36×4) Mbps
音質(音声)	48 kHz、384 kbps (Max 480 kbps, 平均 384 kbps)

動画(1920 モード)

項目	内容
録画/再生方式	AVCHD 規格準拠 映像:MPEG-4 AVC/H.264 音声:Dolby Digital 2ch
拡張子	.MTS
信号方式	デジタルハイビジョン方式 1080/60i(NTSC)、1080/50i(PAL) 1080/60p(NTSC)、1080/50p(PAL)
画質	60p/50p 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 27 Mbps UXP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 24 Mbps XP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 17 Mbps SP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 12 Mbps EP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 4.8 Mbps
音質(音声)	48 kHz、256 kbps

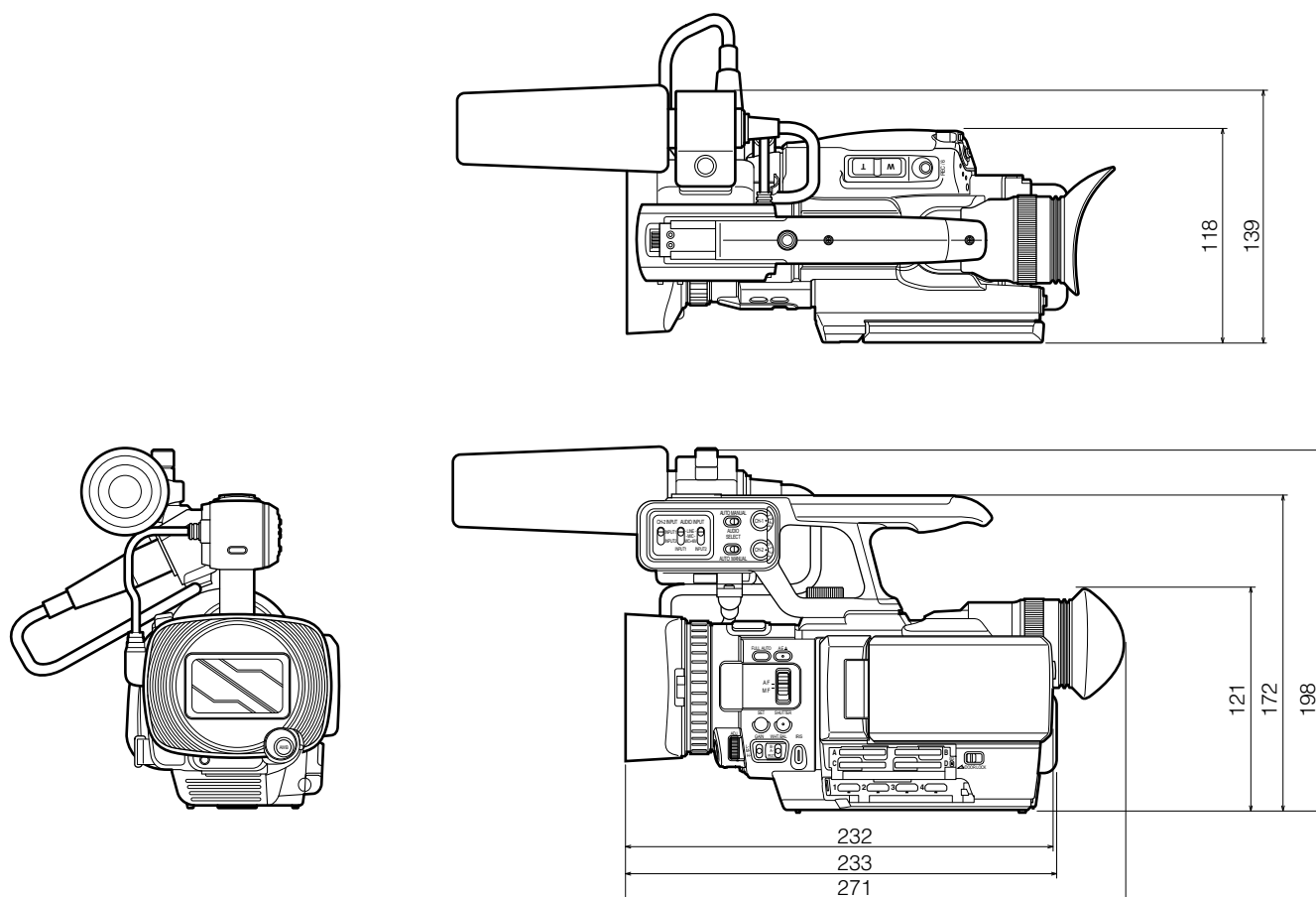
AC アダプター UIA336-1230

項目	内容
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 12 V、3 A
許容動作温度	0°C ~ 40°C (充電時は 10°C ~ 30°C)
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	43.8 mm × 28.5 mm × 95.9 mm(ケーブルと AC プラグを含まず)
質量	約 175 g

バッテリー SSL-JVC50

項目	内容
電圧	7.4 V
容量	4900 mAh
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	43 mm × 47 mm × 70.4 mm
質量	約 225 g

外形寸法図(単位:mm)



※マイクは、別売です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

 **0120-2727-87**

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950** [代表]

FAX **(045)450-2308**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 三丁目12番地

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 三丁目12番地